



第7次 八戸市総合計画
ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

資	料	2
令	和	5年6月8日
R	05	総市委02

第7次八戸市総合計画

【施策シート①】

第2回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和5年6月8日

八 戸 市

○施策シート目次

政策1 「ひと」を育む（政策分野：子育て・教育・文化・スポーツ）	…… P 1
政策2 「経済」を回す（政策分野：産業・雇用）	…… P 33

○施策シートの見方

■基本的な考え方

各政策の基本的な考え方を総合計画の冊子から転記しています。

■施策の体系

各政策の内容を体系的に掲載しています。

- ・政策…市が目指すべきまちづくりの方向を示すものです。
- ・施策の方向性…政策を推進するために、どのような方向性で施策を展開していくのかを示すものです。
- ・施策…施策の方向性ごとに、今後の方策を示すものです。

■各施策について、施策の内容のほか、以下の項目を記載しています。

（1）施策を推進するための事務事業

施策を推進するための事業について、代表的な事業と担当課を記載しています。各事業の具体的な内容については、第7次総合計画付属資料「令和5年度 政策を推進するための事業一覧」に掲載しています。

（2）市民アンケートの結果

施策の進行管理を目的として、令和5年1月に実施した市民アンケートの調査結果（施策の満足度）を記載しています。

（3）進行管理指標の動向

施策の進捗状況を確認するための指標の動向を記載しています。

（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

市民アンケートの結果及び進行管理指標の動向に基づく、市の自己評価及び評価理由を記載しています。

（5）施策に対する委員会の評価

（4）に記載した市の自己評価の妥当性を審議いただき、記入する欄を設けています。

（6）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見を記入する欄を設けています。

<基本的な考え方>

次代を担う子どもから大人まで、市民（ひと）一人一人が豊かな人生を育むことは、社会全体を生き生きとさせ、明るい未来を築くことにつながります。

全ての市民の人生を豊かなものにできるよう、それぞれのライフステージに応じた環境づくりを推進することが重要です。

これまで、本市では、市民が結婚・出産・子育ての希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるよう、結婚支援や子育て支援の充実に取り組んできました。

また、子どもたちが確かな学力と豊かな心、健やかな体の3つからなる「生きる力」を着実に育むことができ、郷土を愛し地域で活躍する人材を育むことができるよう、学校教育の充実に取り組んできました。

さらに、市民が豊かな人生を送ることができるよう、社会教育の充実に図るとともに、多種多様な文化芸術活動の促進やスポーツに親しむ環境づくりを進めてきました。

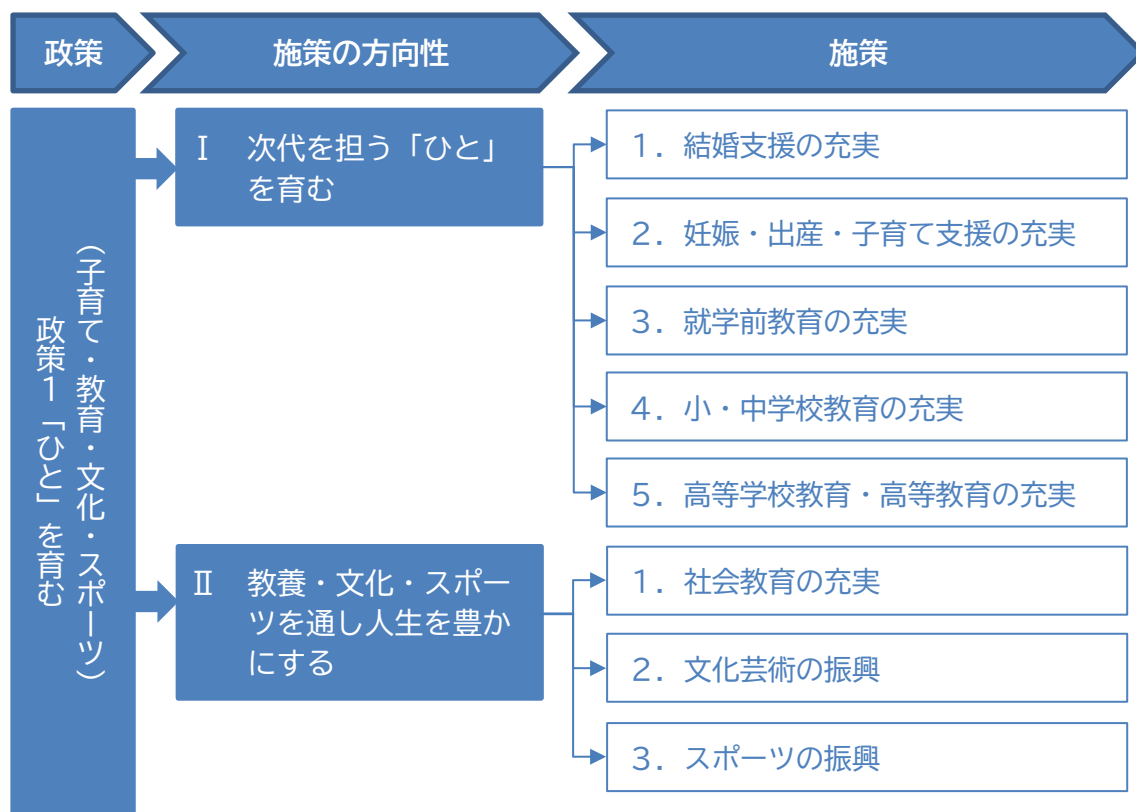
こうした中、近年の核家族化の進展により地域住民同士のつながりの希薄化が進むなど子育て環境が大きく変化しており、今後も子育て家庭が子どもを育てる喜びや楽しさを実感できる環境づくりを推進する必要があります。

また、現代社会はグローバル化や情報化が急速に進展しており、これらの変化に対応し豊かな未来を自らの手で切り拓くことができる人材を育む必要があります。

さらに、市民が主体的に学ぶことができる機会や文化芸術・スポーツに親しむ機会が数多く創出されてきた中で、市民一人一人が精神的な豊かさを感じながら、より豊かな人生を送ることができるよう、これまでの取組を更に推進する必要があります。

このようなことから、本市では、次代を担う「ひと」を育むため、結婚支援や妊娠・出産・子育て支援、就学前教育、小・中学校教育、高等学校教育・高等教育の充実に図るとともに、教養・文化・スポーツを通し豊かな人生を送る「ひと」を育むため、社会教育の充実や文化芸術、スポーツの振興を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性 I 次代を担う「ひと」を育む

施策 1. 結婚支援の充実

目指す姿	・結婚を希望する人が、多くの出会いの機会を得られ、希望をかなえることができている。
施策の内容	地域住民との連携により結婚活動への支援に取り組むとともに、あおり出会いサポートセンターとの連携による情報提供やイベントの開催を通じた多様な出会いの機会の創出を図ります。

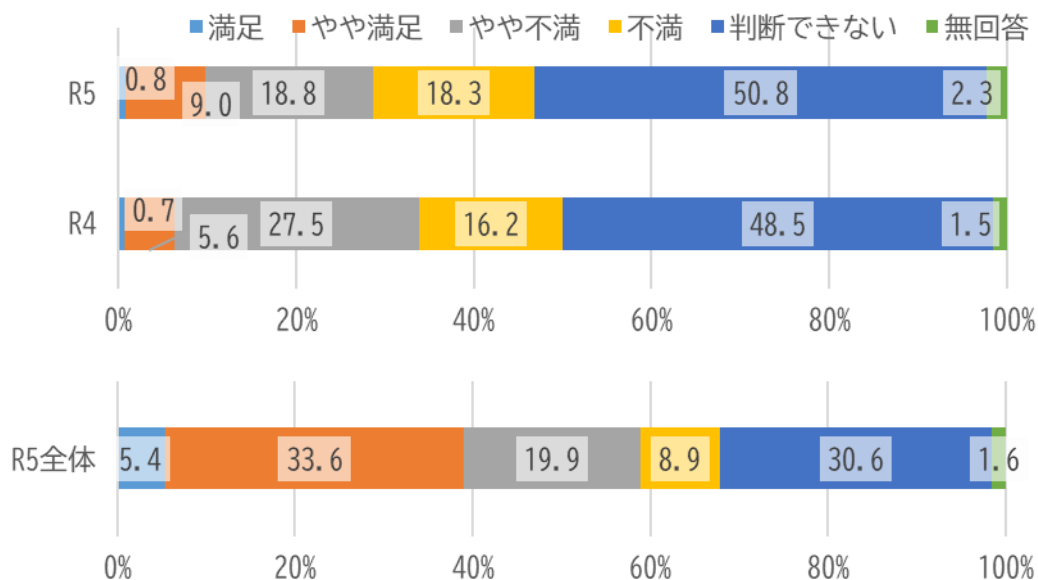
(1) 施策を推進するための事務事業

(1 事業)

事業名称	担当部署
はちのへ縁結びプロジェクト事業	子育て支援課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】結婚を希望する人の希望がかなえられるよう、出会いの機会の創出など、結婚支援の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 55位／全55問

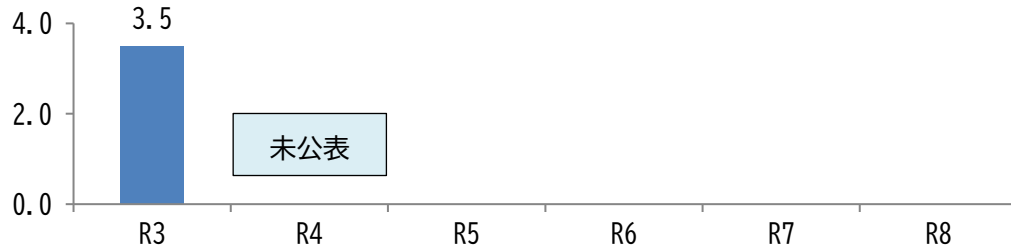
※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

(3) 進行管理指標の動向

①婚姻率

資料：青森県保健統計年報（各年集計）

指標の定義：人口千人に対する婚姻件数の割合

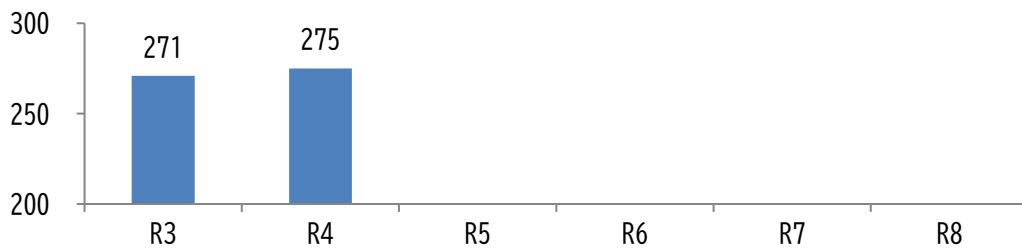


②あおり出会いサポートセンターの市民登録者数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：あおり出会いサポートセンターにおける八戸市民の個人会員登録者数

(単位：人)



※関連指標：あおりマッチングシステム登録者数（R4. 10月から運用）

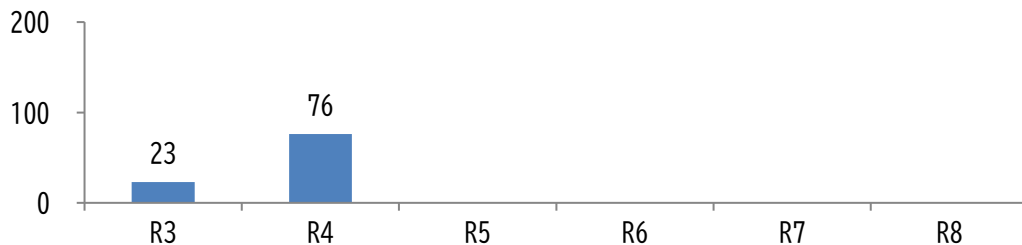
令和5年4月1日時点 94名（男76、女18）

③結婚に関するイベントへの参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市で実施している婚活イベントへの参加者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 婚姻率は、減少傾向にあるものの県内 10 市中第 2 位であったほか、八戸圏域連携中枢都市圏縁結び支援事業協議会で開催する婚活パーティーの参加者数は、コロナ禍の中でも協議会で設定した目標値（80 名）を概ね達成した。
- 県と共同運営を行うあおもり出会いサポートセンターについては、昨年度に運用を開始したマッチングシステムの周知を県と連携しながら強化し、登録者を増やすことで、出会いの機会の増加を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の 4 区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策2. 妊娠・出産・子育て支援の充実

目指す姿	・妊娠や出産の希望をかなえられ、安心して子育てができています。
施策の内容	妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援体制の整備や子育て情報の提供に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の充実を図ります。また、多様な子育て支援サービスの充実を図るとともに、子育て家庭への経済的支援に取り組めます。

(1) 施策を推進するための事務事業

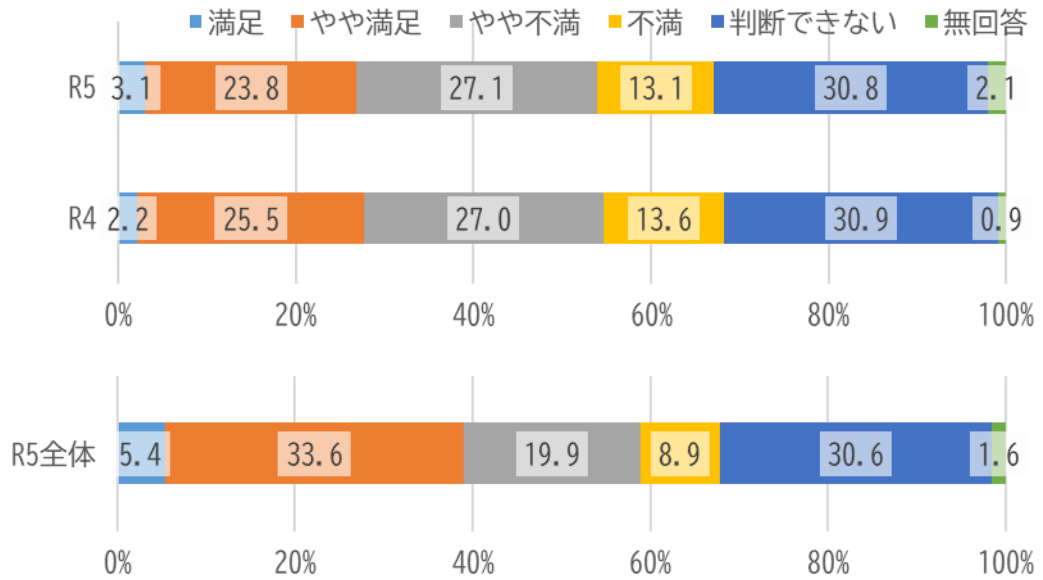
(58 事業)

事業名称	担当部署
妊娠出産包括支援事業	すくすく親子健康課
健康教育事業	すくすく親子健康課
健康相談事業	すくすく親子健康課
母子訪問指導事業（母子継続看護事業含む）	すくすく親子健康課
母子健康診査事業	すくすく親子健康課
子育て世代包括支援センター事業	すくすく親子健康課
女性健康支援センター事業	すくすく親子健康課
ハイリスク妊産婦アクセス支援事業	すくすく親子健康課
家庭相談事業	こども家庭相談室
女性相談事業	こども家庭相談室
子ども家庭見守り・訪問支援事業	こども家庭相談室
児童虐待防止対策事業	こども家庭相談室
子ども家庭総合支援拠点事業	こども家庭相談室
特別支援教育推進事業	こども支援センター
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター
子育て情報整備事業	子育て支援課
子育て支援アプリ事業	子育て支援課
時間外（延長）保育事業	こども未来課
休日保育の実施	こども未来課
一時預かり保育事業	こども未来課
病児・病後児保育事業	こども未来課
軽・中程度障がい児保育事業	こども未来課
保育研修事業	こども未来課
認可外保育施設児童対策事業	こども未来課
保育施設等整備事業	こども未来課
保育補助者雇上強化事業	こども未来課
児童福祉施設等産休等代替職員設置事業	こども未来課
保育士資格等取得支援事業	こども未来課
保育士修学資金貸付金事業	こども未来課

私立幼稚園補助金	学校教育課
私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課
地域子育て支援センター事業	こども未来課
子育てサロン支援事業	こども未来課
つどいの広場事業	こども未来課
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課
児童館・児童センター管理運営事業	子育て支援課
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課
子ども食堂支援事業	子育て支援課
八戸市ブックスタート事業	図書館
放課後児童健全育成事業	子育て支援課
放課後子ども教室推進事業	子育て支援課
保育料軽減事業	こども未来課
施設型等給付費支給事業	こども未来課
実費徴収に係る補足給付事業	こども未来課
施設等利用給付費支給事業	こども未来課
児童手当支給事業	子育て支援課
児童扶養手当支給事業	子育て支援課
子ども医療費助成事業	子育て支援課
ひとり親家庭等医療費助成事業	子育て支援課
遺児等援護対策事業	子育て支援課
小児慢性特定疾病事業	すくすく親子健康課
未熟児養育医療給付事業	すくすく親子健康課
母子家庭等対策総合支援事業	こども家庭相談室
母子父子寡婦福祉資金の貸付け	こども家庭相談室
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	こども家庭相談室
不妊治療費助成事業	すくすく親子健康課
不妊専門相談センター事業	すくすく親子健康課
不育症検査費用助成事業	すくすく親子健康課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 妊娠・出産を希望する人が安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育て支援の充実が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 48位／全55問
 ※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

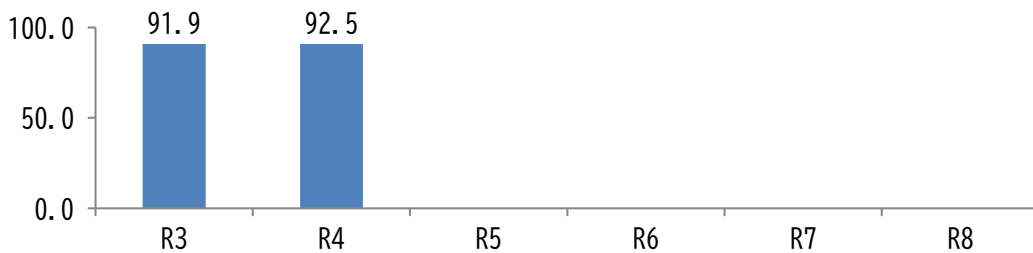
(3) 進行管理指標の動向

①地域で子育てをしたいと思う親の割合

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：子育て世帯を対象としたアンケートで「この地域で子育てをしたい、子育てをしてよかった」と回答した人の割合

(単位：%)

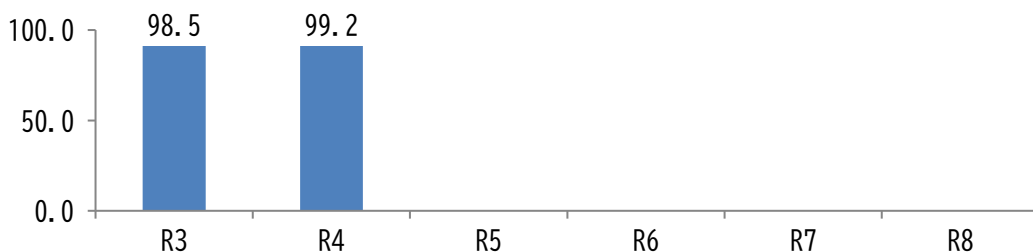


②母子健康診査受診率（妊婦健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：妊婦健康診査受診率

(単位：%)

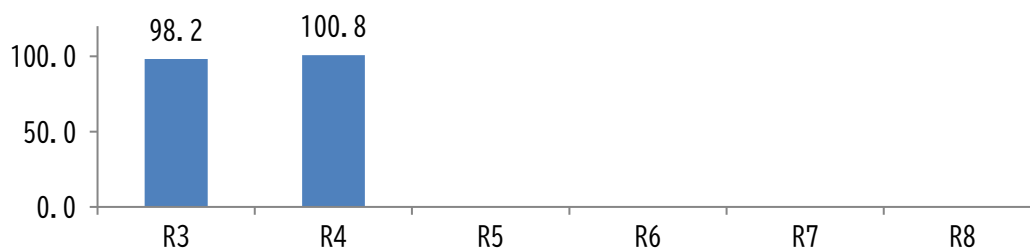


③母子健康診査受診率（3歳児健康診査）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：3歳児健康診査受診率

（単位：％）

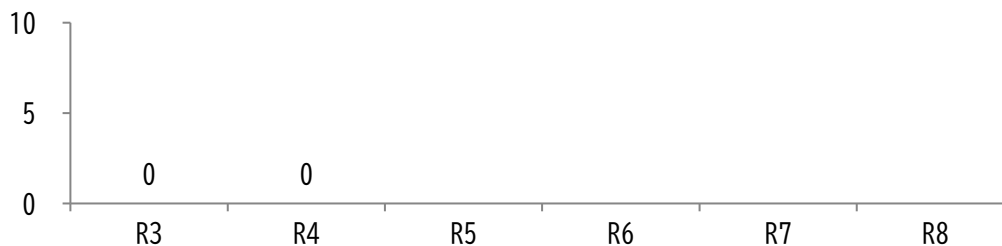


④待機児童数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：保育の必要性が認定され、特定教育・保育施設等の利用申込みをしているが、入所できない児童（ただし、特定の保育施設のみを希望している場合は除く）

（単位：人）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- つどいの広場（こどもはっち）や、地域子育て支援センター（市内保育所等 12 ヲ所）、子育てサロン（公民館等 18 ヲ所）において、育児不安や孤立感等を抱える子育て世帯の支援を目的に実施している遊びの場や親同士の交流の場の提供、子育て相談等について、利用者から好評をいただいております、新型コロナウイルスの影響により利用者が減少していましたが、令和 4 年度に入り回復傾向がみられる。
- 令和 4 年度には「子育てアプリはちも」の運用を開始し、母子健康手帳機能と地域の情報配信機能により、妊娠期から子育て期の切れ目のないサポートを強化したほか、子ども医療費助成事業については、令和 6 年 1 月分から給付対象となる保護者の所得制限を撤廃し、対象者の拡充を行う予定としている。
- 健康診査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により一時中止となったものの、健診回数を追加し、受診勧奨等を進めたことで、受診率が回復している。
- このほか、虐待防止に関する研修を実施するとともに、切れ目のない支援のために、複数の関係部署が随時情報共有し連携を図ることで、適時適切な相談対応等を実施しているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策3. 就学前教育の充実

目指す姿	・就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できている。
施策の内容	就学前教育施設が行う幼児教育の提供や教育環境の整備を支援するとともに、小学校教育への円滑な接続に向けた幼稚園・認定こども園・保育所・小学校との連携を推進します。また、子育て世代包括支援センター、こども家庭相談室、こども支援センターの連携による相談体制の充実を図ります。

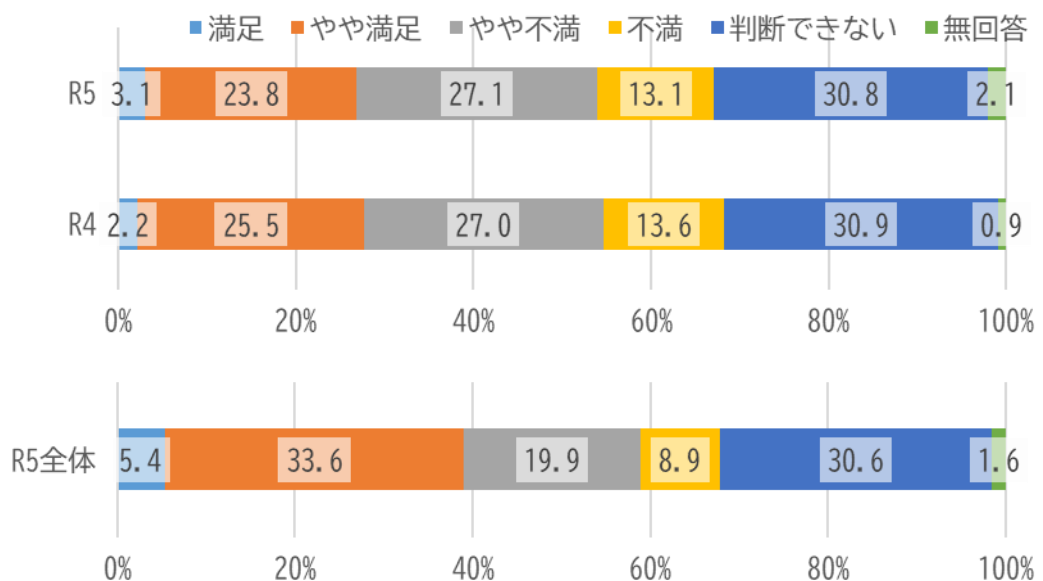
(1) 施策を推進するための事務事業

(8事業)

事業名称	担当部署
保育研修事業	こども未来課
保育施設等整備事業	こども未来課
私立幼稚園補助金	学校教育課
私立幼稚園教育研修費補助金	学校教育課
幼保小連携推進事業	教育指導課
子育て世代包括支援センター事業	すくすく親子健康課
子ども家庭総合支援拠点事業	こども家庭相談室
特別支援教育推進事業	こども支援センター

(2) 市民アンケートの結果

【設問】就学前の子どもが小学校入学後に速やかに学校生活に順応できるよう、子ども一人一人の発達に応じた支援や相談体制の構築など、就学前教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 27位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

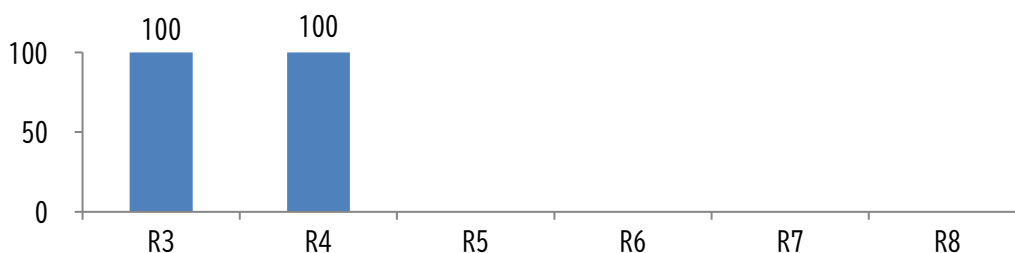
(3) 進行管理指標の動向

① 小学校における就学前教育施設との 交流活動・参観等の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：小学校と幼稚園・認定こども園・保育所が、交流や保育・教育活動の相互参観、
情報交換等を実施した率

(単位：%)

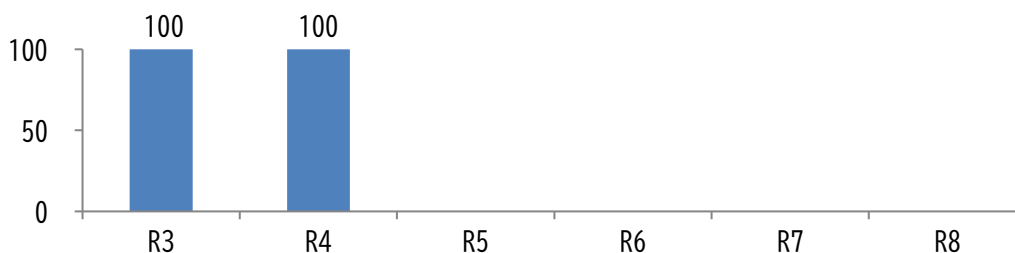


② 幼児教育アドバイザー及び幼児相談員 による巡回相談の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：幼稚園・保育所・認定こども園からの依頼に対して、幼児教育アドバイザー及
び幼児相談院員による巡回相談を実施した園・所の割合

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 特別支援教育推進事業における小学校の「ことばの教室」で行われてきた未就学児の相談業務について、こども支援センターに相談窓口を一本化し、より相談しやすい体制の構築を図ったほか、巡回相談についても、要望に応じ適切に対応している。
- また、子ども家庭総合支援拠点事業においても、児童虐待や子供の養育に関する相談等に対応し、子育て家庭の不安解消に向けた取組を進めている。
- 幼保小の連携においては、コロナ禍で幼児児童の交流に制限があったものの、教職員間での情報交換を継続するとともに、相互参観を通じて相互理解を図る取組も行われ、順調に進んでいると考える。
- このほか、ハード面においても、老朽化等に対する増改築を行う事業者への経費補助を行う保育施設等整備事業により、毎年度2施設ずつ、計画的に整備を進めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

施策4. 小・中学校教育の充実

目指す姿	・郷土を愛し、夢や希望をもち、自分自身や未来をしっかりと見つめ、「生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）」を身につけた児童生徒が育っている。
施策の内容	地域密着型教育の推進や教職員の指導力向上を図るとともに、英語教育の推進やICT環境の整備による教育の情報化に取り組みます。また、学校施設の老朽化対策や計画的な整備を進めるとともに、特別な教育的支援が必要な児童生徒に対する教育の充実を図ります。

(1) 施策を推進するための事務事業

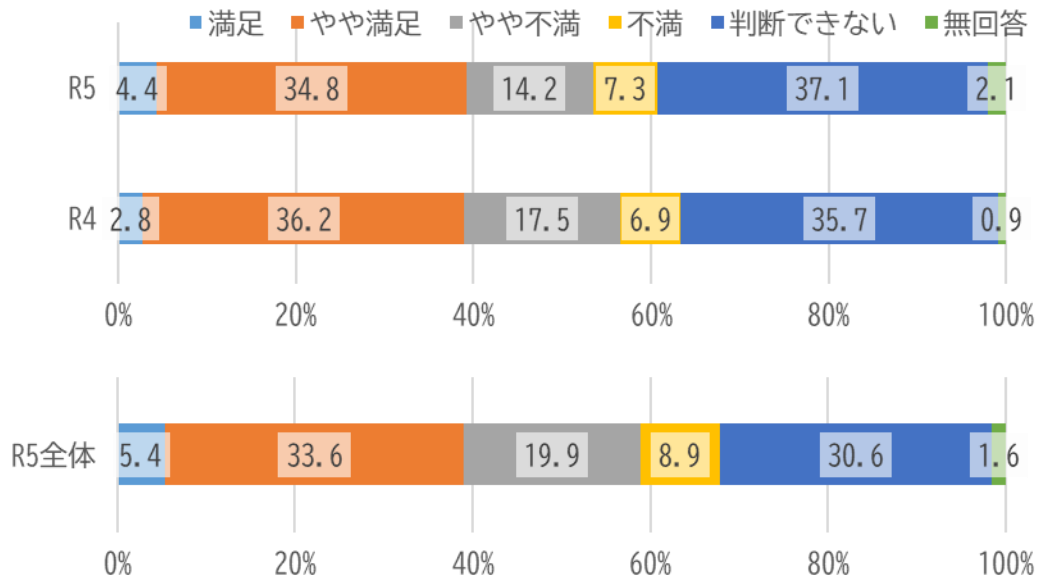
(31 事業)

事業名称	担当部署
八戸市児童・生徒の健康と体力の発刊	学校教育課
栄養教諭・学校栄養職員を活用した食に関する指導	学校教育課
学校給食における地産地消の推進	学校教育課
地域密着型教育推進事業	教育指導課
小・中ジョイントスクール事業	教育指導課
南部藩ゆかりの都市との交流事業	教育指導課
マイブック推進事業	教育指導課
広域的体験学習支援事業	教育指導課
ひらく・楽しむ新聞活用事業	教育指導課
こころのプロジェクト「夢の教室」事業	教育指導課
国際理解教育・英語教育推進事業	総合教育センター
視聴覚センター各種体験活動	総合教育センター
GIGAスクール構想推進事業	総合教育センター
調べる学習コンクール事業	図書館
教職員研修事業	総合教育センター
小・中学校整備事業	教育総務課
児童生徒体育文化活動振興事業	学校教育課
保健体育事業	学校教育課
通学支援事業	学校教育課
要・準要保護児童生徒扶助費	学校教育課
小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業	学校教育課
学校図書館支援事業	教育指導課
スクールソーシャルワーカー活用事業	教育指導課
学校図書館ネットワーク事業	総合教育センター
教育の情報化推進事業	総合教育センター
特別支援教育就学奨励費	学校教育課
特別支援教育アシスト事業	こども支援センター
特別支援教育推進事業	こども支援センター
教育相談・適応指導教室事業	こども支援センター

教育支援事業	こども支援センター
特別支援教育看護支援員配置事業	こども支援センター

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 児童生徒が郷土への愛着や誇りをもつとともに、生きる力（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身につけられるよう、小・中学校教育の充実が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 15位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

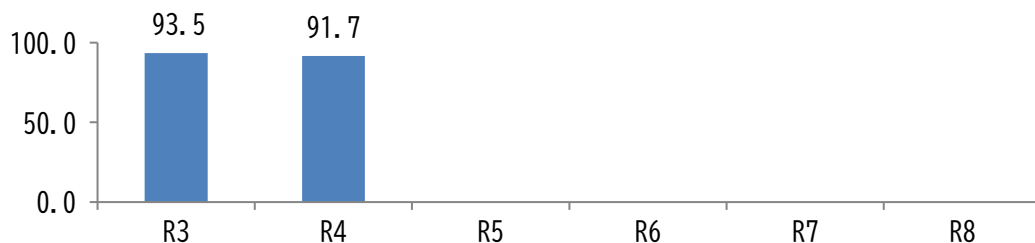
(3) 進行管理指標の動向

① 学力実態調査（「学校の授業はよく分かる」と回答した児童生徒の割合（小学6年生、中学3年生）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答した児童生徒の割合（小学6年生・中学3年生）

（単位：％）

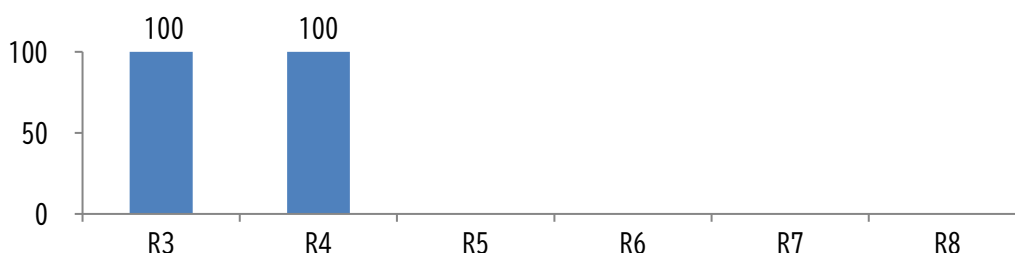


②地域密着型教育の実施率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内小・中学校の地域密着型教育実施校の割合

(単位：%)

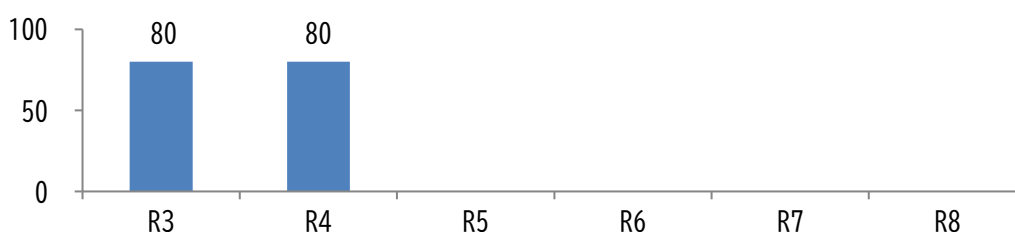


③特別支援アシスタントの配置数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：特別支援教育アシスト事業の特別支援アシスタント配置人数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 教育現場においては、コロナ禍で制限があったものの、各学校で児童生徒の学びを保障するために創意工夫して教育活動を行ったほか、地域学校連携協議会を通じて「開かれた学校づくり」が進み、保護者・地域住民による学校支援ボランティア活動が工夫して行われた。
- GIGA スクール構想に基づく取組も進んでおり、1人1台端末の円滑な活用に向け、各種研修会などを開催し、教育の質の向上を図っているところ。
- 学校における冷房設備の新設や防音機能の復旧事業など、ハード面の整備においても計画的に進んでいる。
- 特別支援教育アシスト事業において、支援を必要とする学校へ特別支援アシスタントの適正配置に努めている。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策5. 高等学校教育・高等教育の充実

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・修学を希望する人が、経済的な理由に妨げられることなく高等学校教育・高等教育を受ける機会が確保されている。 ・郷土に愛着や誇りを持つ人材が育成され活躍している。
施策の内容	高校生や大学生等への経済的支援に取り組むとともに、私立高等学校の教育環境の充実を図ります。また、高等教育機関との連携により、大学生等が地域の産業や文化を学ぶ機会の創出を図ります。

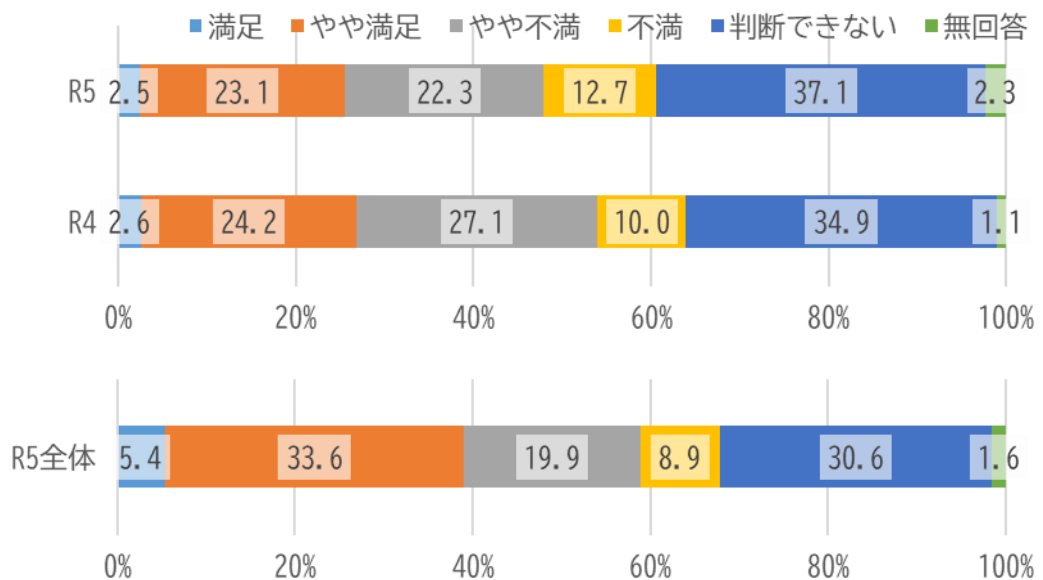
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署
八戸市奨学金制度	学校教育課
私立高等学校助成補助金	学校教育課
八戸産学官連携推進事業	政策推進課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 修学を希望する高校生や大学生等への経済的支援や私立高等学校への支援、高等教育機関との連携による人材育成など、高等学校教育・高等教育の充実が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 46位／全55問

※ 「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

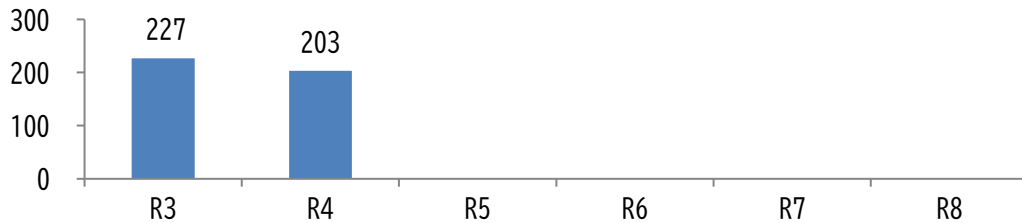
(3) 進行管理指標の動向

①奨学金の貸与・給付件数

資料：八戸市教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校生・大学生等に対する奨学金の貸与・給付件数

(単位：件)

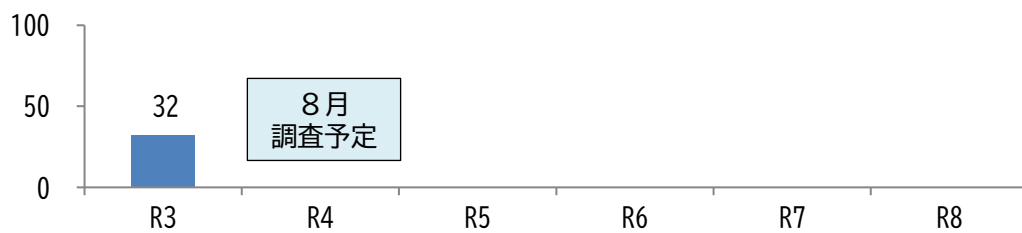


②高等教育機関が実施する地域を学ぶ講義数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸学院大、八戸学院短期大、八戸工業大学、八戸高等工業専門学校の4校で実施している八戸地域を学ぶ講義数

(単位：件)

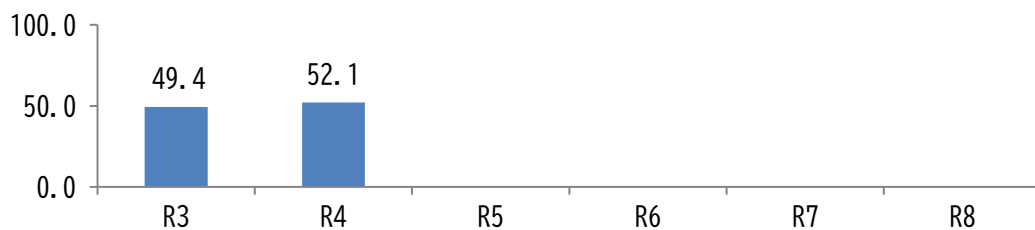


③大学等への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校)高等部(専攻科)への進学率

(単位：%)

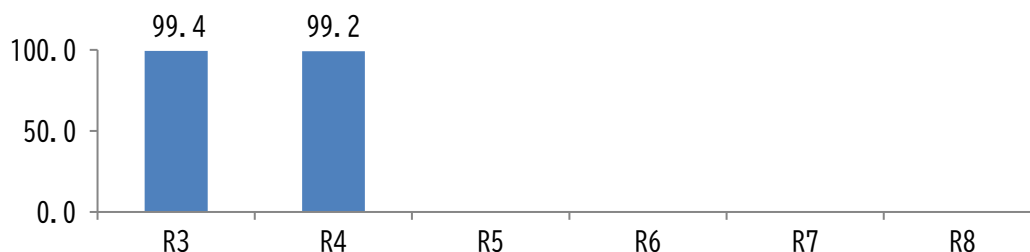


④高校への進学率

資料：青森県教育委員会（各年度集計）

指標の定義：高校への進学率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 八戸産学官連携推進会議において、市内高等教育機関共通講義である「八戸地域学」を令和4年度から開講し、学生が地域の産業や文化等を学ぶ機会を創出できたため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

・

・

・

■ 施策の方向性Ⅱ 教養・文化・スポーツを通し人生を豊かにする

施策1. 社会教育の充実

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が生涯にわたって自由に学ぶことができる場が提供されている。 ・家庭でのしつけや教育に関する多くの不安や悩みが解消されている。 ・次代を担う青少年が地域と関わりながらたくましく成長している。
施策の内容	<p>地区公民館や八戸市博物館、八戸市美術館、是川縄文館などにおいて、それぞれの特色を活かした生涯学習の場を提供するとともに、多様な市民ニーズに応じた学習内容の充実を図ります。また、各種研修会の開催や相談体制の整備を通じて家庭の教育力向上の促進を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成のための環境づくりを推進します。</p>

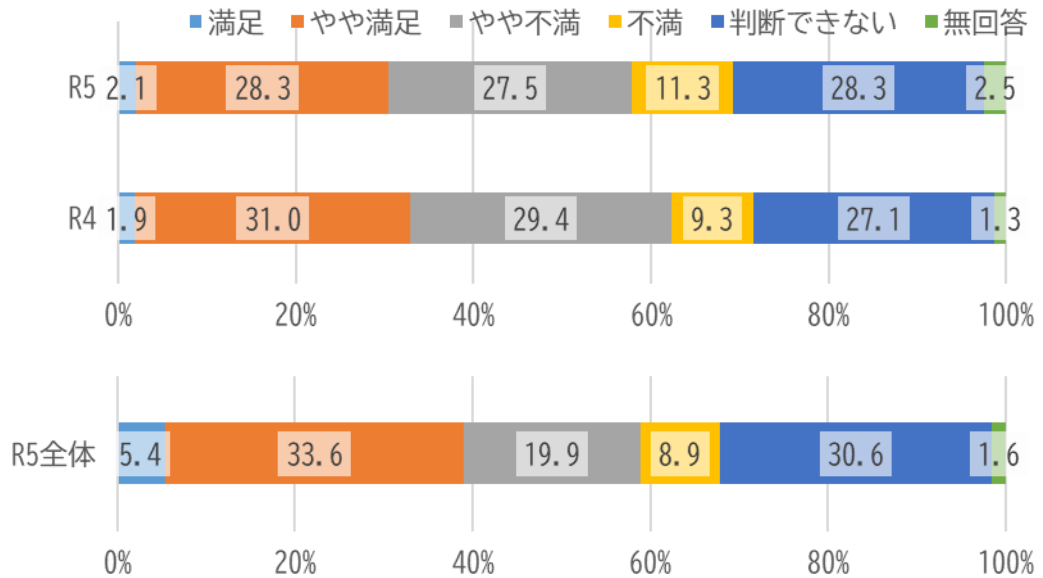
(1) 施策を推進するための事務事業

(15 事業)

事業名称	担当部署
地区公民館を核とした地域コミュニティ活動の促進	社会教育課
八戸市民大学講座	社会教育課
市民IT講習会事業	社会教育課
放送大学支援事業	社会教育課
公民館講座事業	社会教育課
先人周知事業	社会教育課
是川縄文館特別展・体験学習等開催事業	是川縄文館
教職員研修事業	総合教育センター
移動図書館運営事業	図書館
博物館各種展覧会・体験学習等開催事業	博物館
家庭の教育力充実事業	社会教育課
教職員研修事業	総合教育センター
少年相談センター運営事業	教育指導課
青少年（中・高生）の地域活動事業	教育指導課
成人式開催事業	社会教育課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたって自由に学ぶことのできる場の提供や学校・家庭・地域の連携による青少年の健全育成など、社会教育の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 44位／全55問
 ※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

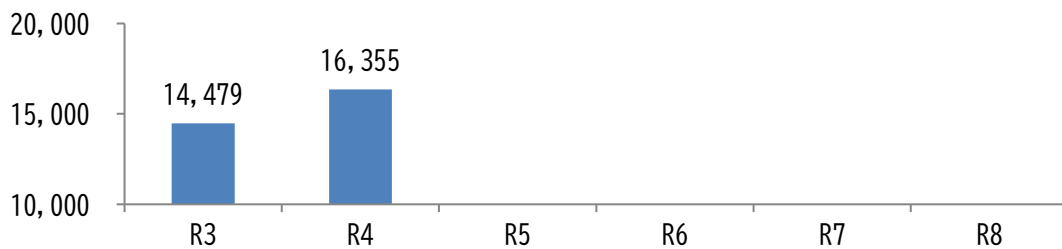
(3) 進行管理指標の動向

①各地区公民館における各種講座の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：公民館活動教室、青年学級、女性学級、高齢者教室、市民学校、家庭教育学級、移動公民館などの参加者数

(単位：人)

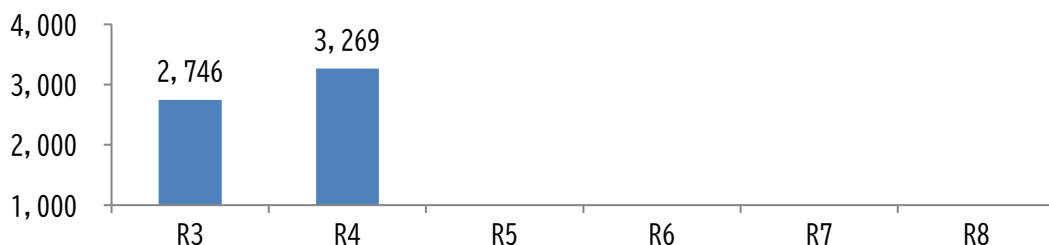


②家庭教育に関する研修会や講座等の参加者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：家庭教育研修会、子育て・親育ち講座、幼稚園家庭教育学級事業の参加者数

(単位：人)

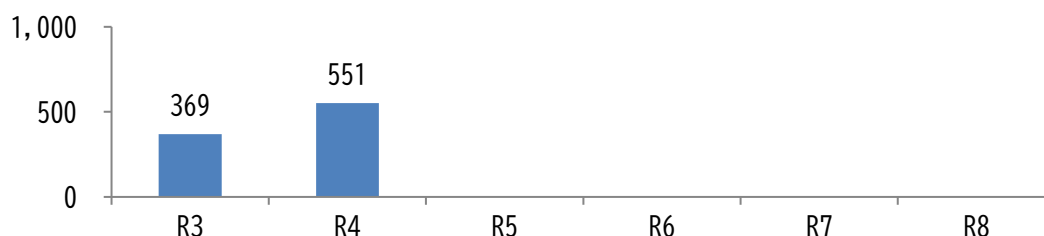


③中学生・高校生のボランティア活動者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：中学生・高校生のボランティア活動人数

（単位：人）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- コロナ禍による各種施設の利用制限等が段階的に緩和され、市主催の企画展や各種講座が予定どおり実施できたほか、市民の自粛ムードも和らぎ、施設利用者、講座参加者、移動図書館の利用者ともに増加傾向である。
- さらに、八戸花火大会やえんぶりのほか、各施設での行事等における中学生・高校生のボランティア活動に参加した人数も増加しており、地域社会の一員としての自覚をもち、地域への関心を深めるとともに、健全な仲間づくりを促すことができたため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策2. 文化芸術の振興

目指す姿	・多様で特色ある市民の文化芸術活動が展開され、市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができる。
施策の内容	市民の文化芸術活動への経済的支援に取り組むとともに、八戸ポータルミュージアム「はっち」や八戸市美術館、八戸市公会堂などの拠点施設を活用した文化芸術活動の促進や施設間の連携、各種文化プログラムを推進します。

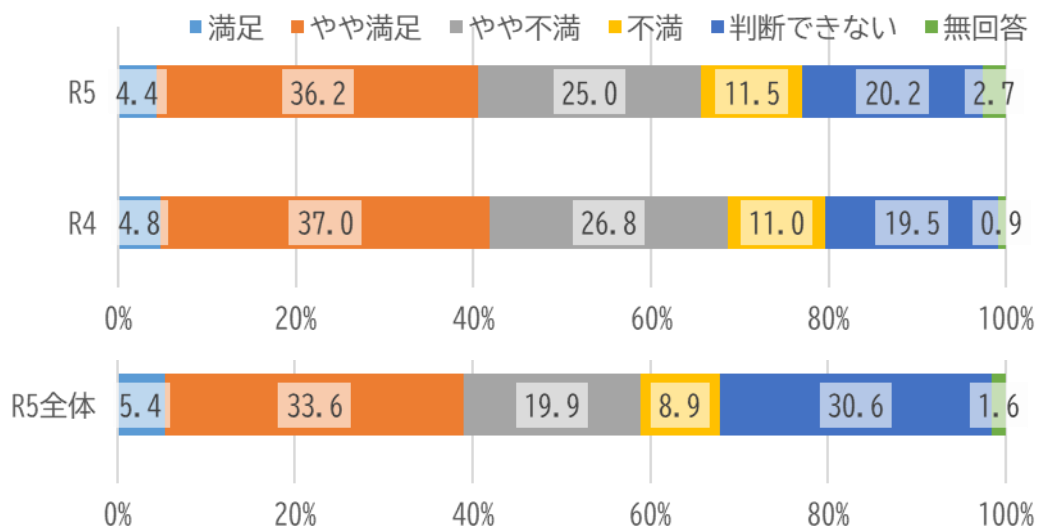
(1) 施策を推進するための事務事業

(12事業)

事業名称	担当部署
アートのまちづくり事業	文化創造推進課
八戸ブックセンター事業	文化創造推進課
”おすすめ！”キッズブック事業	子育て支援課
八戸市ブックスタート事業	図書館
市民による多彩な文化芸術活動振興事業	文化創造推進課
連携・協働を推進するプラットフォーム事業	文化創造推進課
文化施設運営事業	文化創造推進課
文化事業と商業機能との連携事業	文化創造推進課
文化施設の文化プログラムの充実・連携事業	文化創造推進課
情報発信事業	文化創造推進課
写真のまち八戸事業	美術館
八戸市美術館運営事業	美術館

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が豊かな人間性や創造力、感性を育むことができるよう、文化芸術の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 34位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

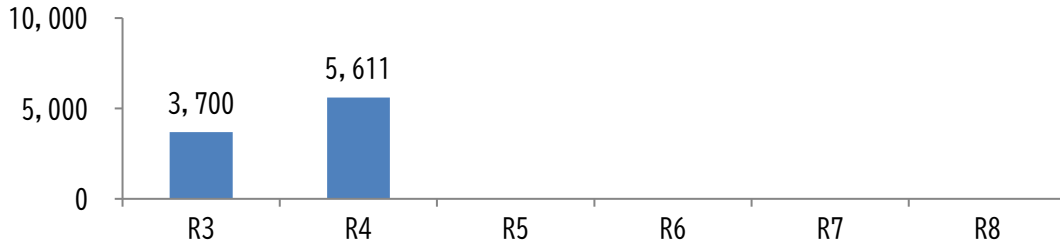
(3) 進行管理指標の動向

①文化プログラムの参加者・鑑賞者数 (八戸ポータルミュージアム)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアムでの文化プログラムの参加者・鑑賞者数

(単位：人)

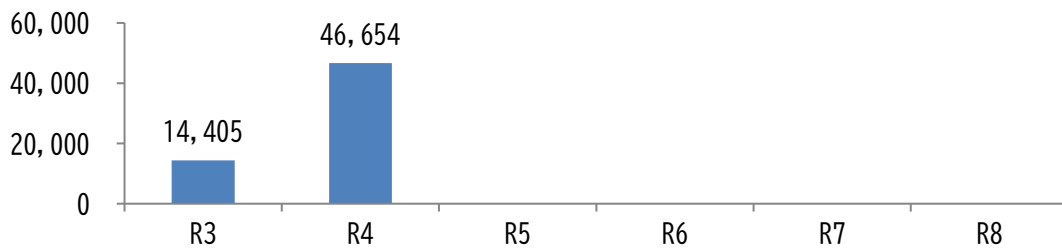


②文化プログラムの参加者・鑑賞者数 (美術館)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：美術館での文化プログラムの参加者・鑑賞者数

(単位：人)

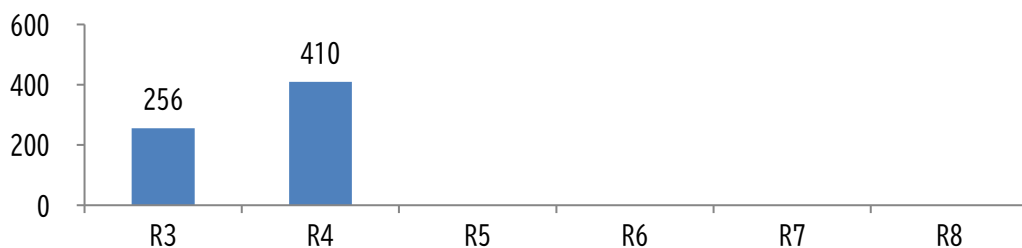


③読書会ルーム・カンヅメブースの利用件数 (八戸ブックセンター)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：読書会ルーム（貸館・自主事業）、カンヅメブースの利用件数

(単位：件)



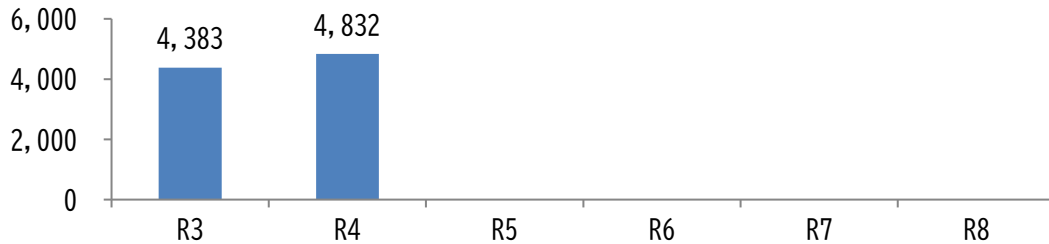
④市民等主催の文化芸術活動件数

(八戸ポータルミュージアム「はっち」、八戸まちなか広場「マチニワ」、公会堂、市公民館ホール・南郷文化ホール、南部会館・更上閣、八戸市美術館)

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：市内文化施設における市民等が主催する文化芸術活動の件数

(単位：件)

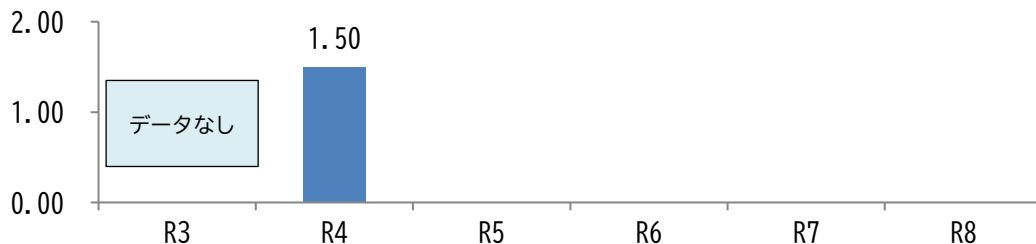


⑤文化施設利用者の施設に対する満足度

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸ポータルミュージアム、美術館、公会堂、市公民館ホール、南郷文化ホールの満足度についてアンケートを実施し、点数化したもの

(単位：点)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 各文化施設及び設備の利用状況は順調に上昇しており、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にあると推察されるほか、満足度の指標においても、公演内容や施設内設備等について、概ね良い評価をいただいている。
- 特に美術館においては、八戸圏域出身作家の大規模回顧展の開催に併せ、市中心街や構成町村との連動企画を実施したことにより、本市のみならず他市町村からの観覧者の増につながったため。
- また、ブックスタート事業においても配付率 93.8%と高い水準で事業が実施できているほか、子育て情報配信「はちすく通信 LINE」にて、おすすめ絵本情報を定期的に配信することで、親子で絵本に触れるきっかけや読み聞かせの機会づくりにつなげているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策3. スポーツの振興

目指す姿	・市民が生涯にわたって、スポーツに親しむことができる。
施策の内容	市民のスポーツ活動の促進やプロスポーツチームの試合観戦の機会を提供するとともに、選手・指導者などスポーツに関わる人材の育成やスポーツの競技力向上を図ります。また、当市で開催される各種スポーツ大会の運営を支援するとともに、老朽化や利用者ニーズに対応したスポーツ施設の整備に取り組みます。

(1) 施策を推進するための事務事業

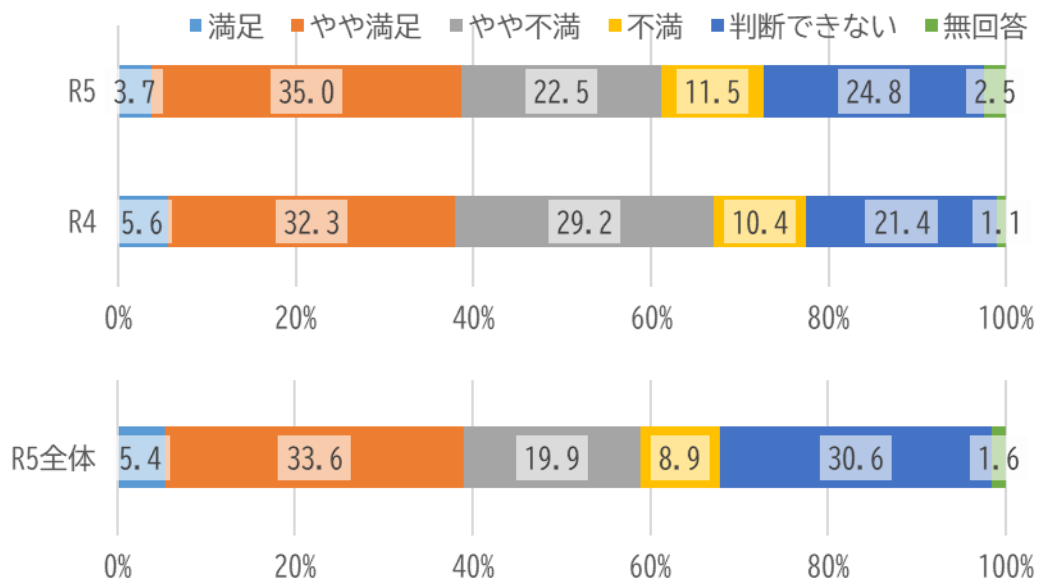
(16 事業)

事業名称	担当部署
スポーツ施設維持管理事業	スポーツ振興課
氷都八戸パワーアッププロジェクト事業	スポーツ振興課
はちとまジュニアアイスホッケー交流事業	スポーツ振興課
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会設置事業	スポーツ振興課
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課
スポーツ推進委員研修事業	スポーツ振興課
スポーツ賞等表彰事業	スポーツ振興課
レスリングのまち推進事業	スポーツ振興課
屋内スケート場事業	長根屋内スケート場
スポーツ少年団運営支援事業	スポーツ振興課
地区体育振興事業	スポーツ振興課
各種スポーツ大会運営補助事業	スポーツ振興課
競技大会選手等派遣補助事業	スポーツ振興課
スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課
フラットアリーナ利用促進事業	スポーツ振興課
八戸市体育館整備事業	スポーツ振興課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市民が生涯にわたってスポーツに親しむ（スポーツを「する」「みる」「ささえる」）ことができるよう、スポーツの振興が図られている。

※「ささえる」：地域でスポーツの指導を行ったり、スポーツ大会等の運営に携わったりすること。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 33位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

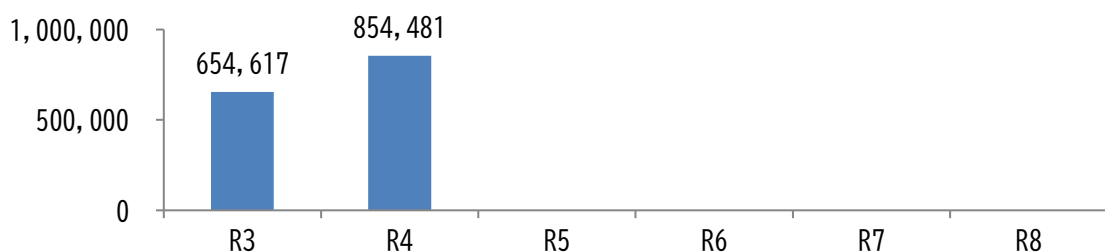
(3) 進行管理指標の動向

①スポーツ施設の利用者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：体育施設の来館（場）者（利用者）数

（単位：人）

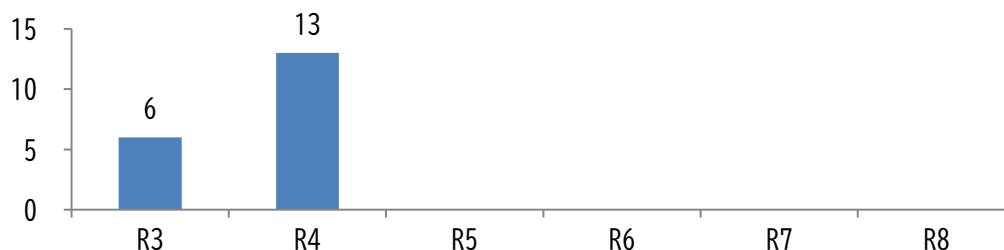


②スポーツにおける各賞の受賞者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸市スポーツ賞の各賞受賞者人数

（単位：人）



（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用制限の緩和に加え、中止となっていた各種大会や指定管理者によるスポーツ教室等が再開され、スポーツ施設の利用者数は回復傾向となっているため。

（5）施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

（6）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

•

•

•

<基本的な考え方>

地域経済は、市民の生活を支え都市の成長発展を促す基盤であり、人々の暮らしの豊かさや地域の活力をさらに高めていくためには、企業活動や労働で生み出された経済的な価値やサービスを停滞させることなく分配・消費につなげるサイクルを促進し、経済活動を活発化させることが重要です。

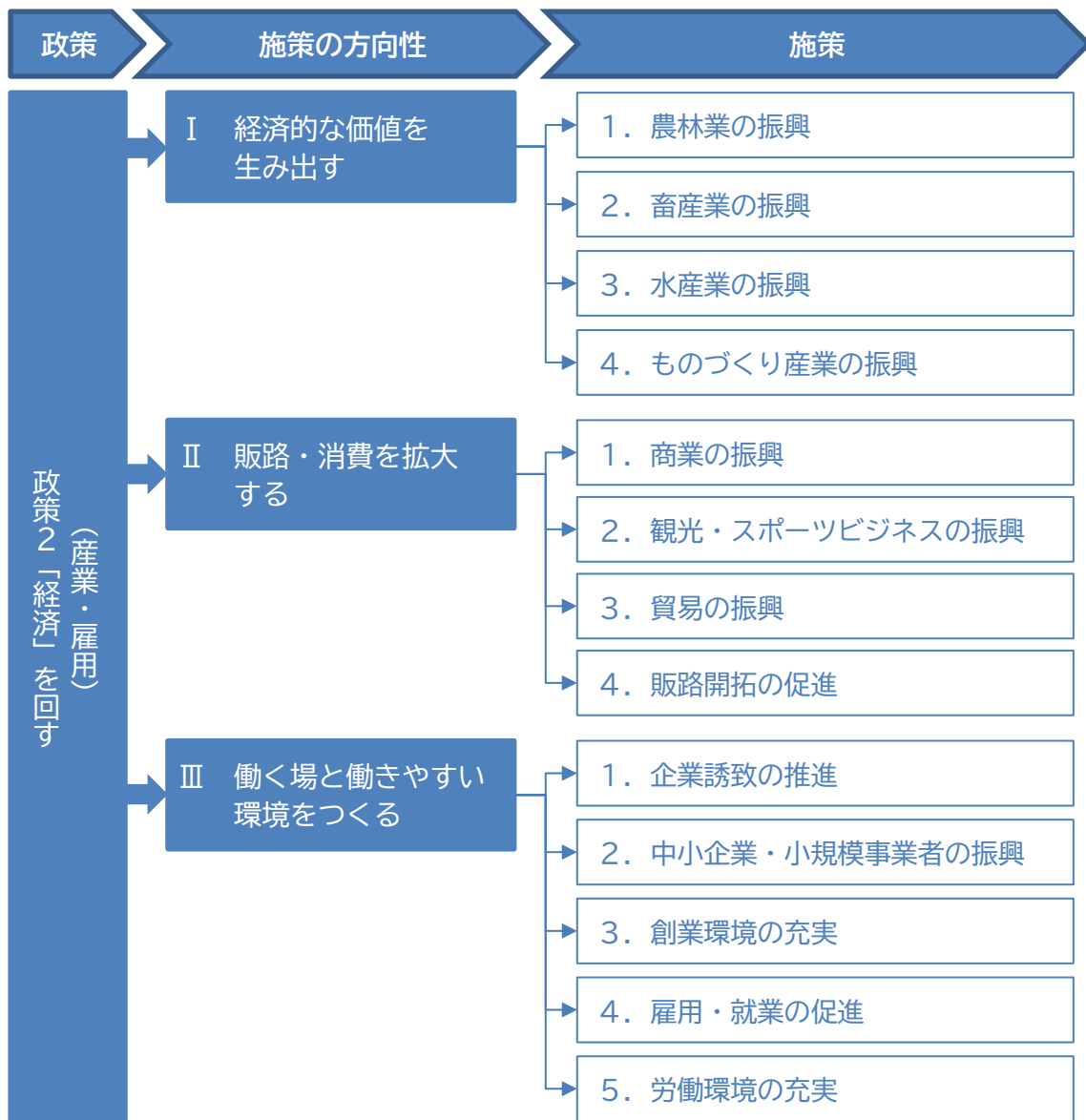
これまで、当市では、多様な産業がひとつのまちに集積する地域特性を活かし、経済のグローバル化に対応しつつ、産業間・異業種間・企業間連携の促進や創業支援の充実を図りながら、地域で事業活動を行う農林畜産業、水産業、商工業など、全ての産業の基盤強化と経営の高度化を促進するとともに、雇用環境の充実を図ることで地域の「経済」を回してきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけとして、世界各国でデジタル化が進展し、日本においても企業のデジタル投資が加速するとともに、ICTを活用した働き方改革が普及するなど地域経済を取り巻く環境が大きく変革しており、地域の経済活動を更に活発化させるためには、これらの変化に適切に対応しながら地域経済を一層循環させる必要があります。

このようなことから、当市では、農林業や畜産業、水産業、ものづくり産業の振興を図り、経済的な価値を生み出すとともに、商業や観光・スポーツビジネス、貿易の振興、販路開拓の促進を図ることで、市場における販路と消費の拡大を促します。

さらに、人々の働く場と働きやすい環境をつくるため、企業誘致の推進や、中小企業・小規模事業者の振興、創業環境の充実、雇用・就業の促進、労働環境の充実を図ります。

< 施策の体系 >



■ 施策の方向性 I 経済的な価値を生み出す

施策 1. 農林業の振興

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の担い手が確保され、付加価値の高い農作物の生産が行われるとともに、地域内外に新鮮かつ多彩な農産物が安定的に供給されている。 ・ 森林整備の担い手が確保され、森林の適正な整備が行われるとともに、地域材が広く利用されている。
施策の内容	<p>農地集積の促進や中山間地域における農村環境づくりの推進など農業基盤の整備を図ります。また、新規就農者や森林整備の担い手の育成・確保を図るとともに、付加価値の高い農業生産の促進や、卸売市場の環境整備を進めます。さらに、森林の適正な保全・管理に取り組むとともに、地域材の利用促進を図ります。</p>

(1) 施策を推進するための事務事業

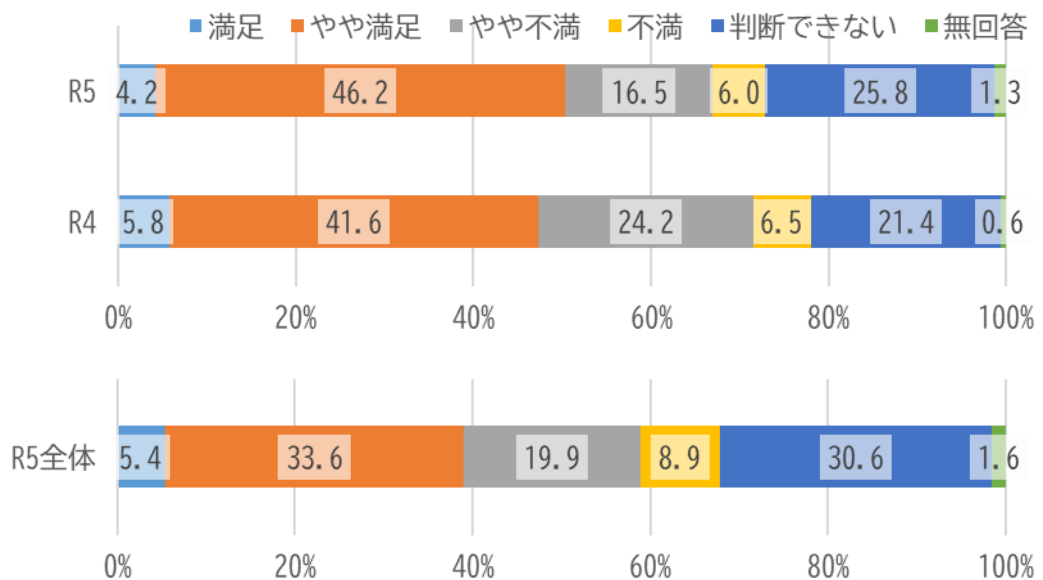
(33 事業)

事業名称	担当部署
経営所得安定対策等事業	農林畜産課
中山間地域等直接支払対策事業	農林畜産課
多面的機能支払交付金	農林畜産課
土壌分析・診断・改善事業	農業経営振興センター
農地集積事業	農業経営振興センター
農業制度資金利子補給事業	農業経営振興センター
租税特別措置法に係る事務事業	農業委員会事務局
農業者年金業務事業	農業委員会事務局
農地転用に関する事務事業	農業委員会事務局
農地等の権利移転・設定に関する事務事業	農業委員会事務局
遊休農地解消活動事業	農業委員会事務局
農林水産物安全・安心モニタリング調査事業	農林畜産課
環境保全型農業普及促進事業	農業経営振興センター
野菜等産地力強化支援事業	農業経営振興センター
農業新ブランド育成事業	農業経営振興センター
南郷新規作物研究事業	農業経営振興センター
農林水産物安全・安心モニタリング調査事業（県）	農業経営振興センター
畑作振興対策事業	農業経営振興センター
野菜花き展示普及事業	農業経営振興センター
漆産業振興事業	農林畜産課
グリーン・ツーリズム推進事業	農業経営振興センター
担い手総合支援事業	農業経営振興センター
地域農業経営再開復興支援事業	農業経営振興センター
企業等農業参入支援事業	農業経営振興センター

高等教育機関との連携による農業経営者の育成	農業経営振興センター
農地利用効率化等支援事業	農業経営振興センター
市民農園設置事業	農業経営振興センター
情報活動事業	農業委員会事務局
農家相談活動事業	農業委員会事務局
除間伐等実施事業	農林畜産課
公有林（市民の森）整備事業	農林畜産課
公共建築物への地域材の利用促進	農林畜産課
中央卸売市場電気設備改修事業	中央卸売市場

(2) 市民アンケートの結果

【設問】付加価値の高いブランド野菜（八戸いちごやワイン用ぶどうなど）の生産や新鮮かつ多彩な農産物の安定供給、地域森林資源の活用など、農林業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 11位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

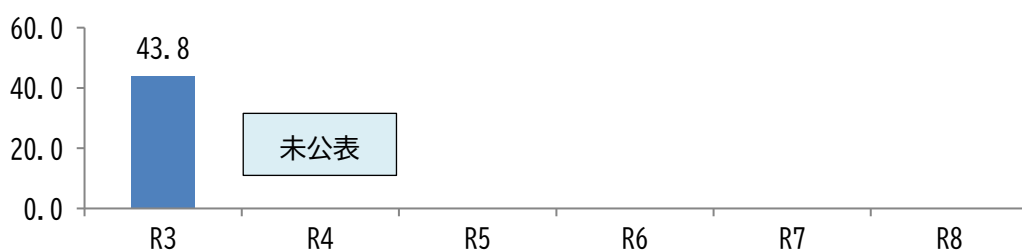
(3) 進行管理指標の動向

① 農業産出額（耕種）

資料：農林水産省（各年集計）

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

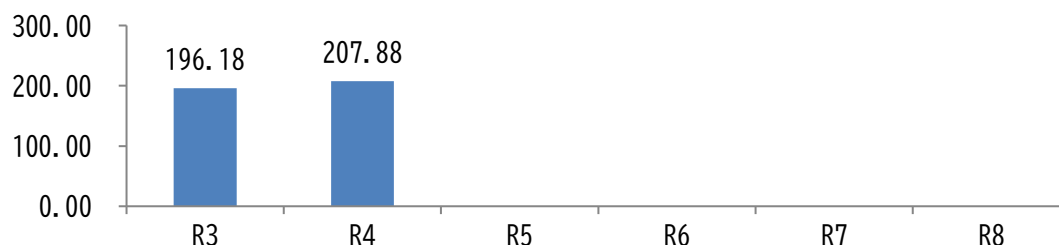


②森林経営計画認定実績

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：森林経営計画の認定面積

（単位：ha）



（４）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 各種事業の実施により、認定新規就農者が2名増えたほか、森林経営計画においても、新たな計画認定が1件あり、認定面積が増加した。
- このほか、肥料価格の高騰が農業経営に及ぼす影響を緩和することを目的に、農業者肥料高騰対策支援事業として119件、計5,605千円を交付し、農業経営の継続支援を図ったため。

（５）施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

（６）施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

•

•

•

施策2. 畜産業の振興

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 畜産業及び関連産業の経営が安定して行われるとともに、事業規模の拡大が進められている。 地場産畜産物が地域内外で認知され、消費拡大が図られている。
施策の内容	地場産畜産物の生産体制の整備・強化や、地域住民の畜産業に対する理解促進を図るとともに、地域内外での地場産畜産物の認知度向上・消費拡大に向けた取組を推進します。

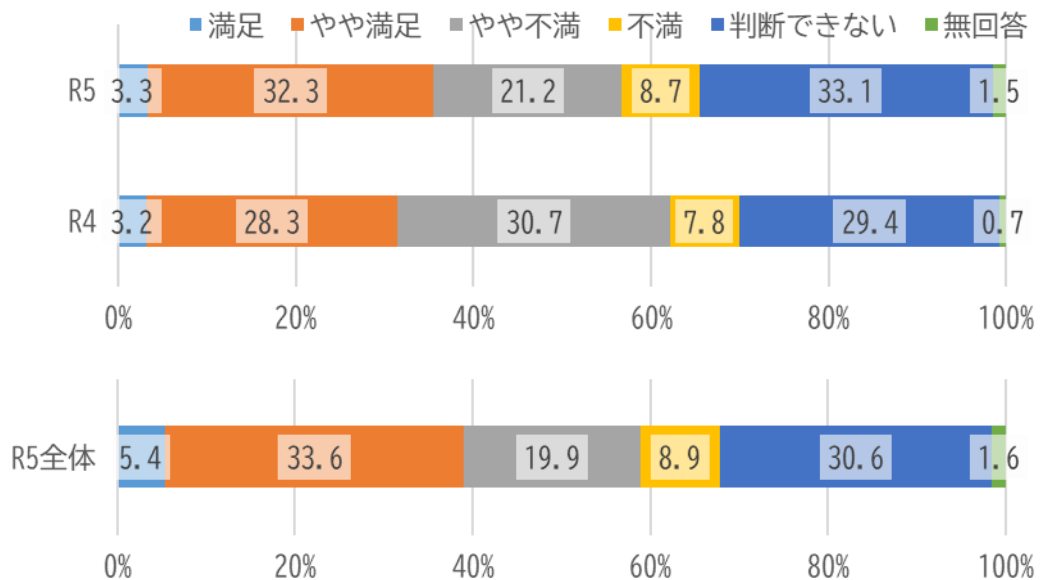
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署
畜産業振興事業	農林畜産課
畜産施設に関する環境影響評価実施基準の緩和・見直し	農林畜産課
畜産関連産業振興事業	農林畜産課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地場産畜産物の地域内外での認知度向上や消費拡大など、畜産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 28位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

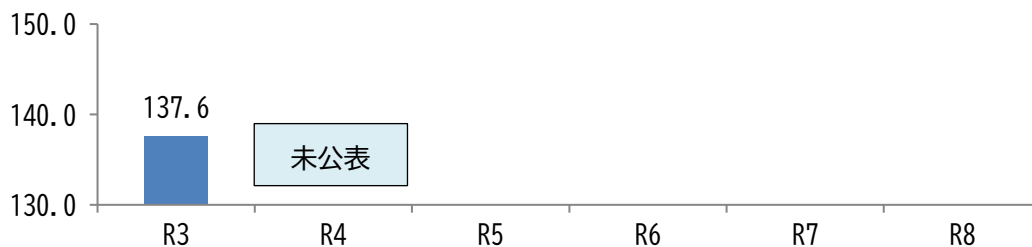
(3) 進行管理指標の動向

①農業産出額（畜産）

資料：農林水産省

指標の定義：国の市町村別農業産出額（推計）の数値

（単位：億円）

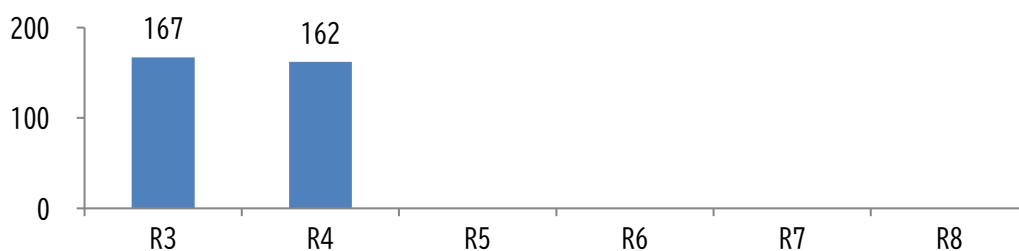


②家畜飼養頭羽数（乳牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の乳牛の飼養頭数

（単位：頭）

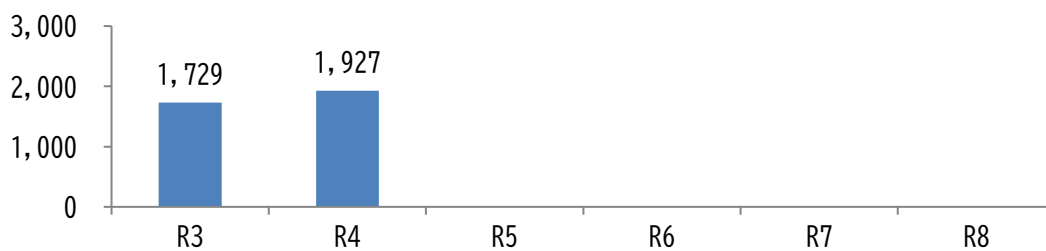


③家畜飼養頭羽数（肉牛）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の肉牛の飼養頭数

（単位：頭）

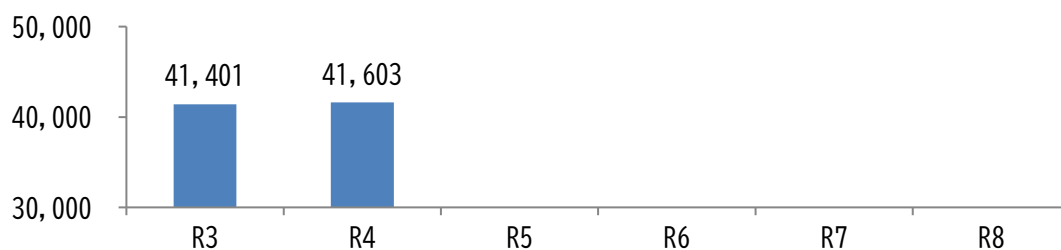


④家畜飼養頭羽数（豚）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の豚の飼養頭数

（単位：頭）

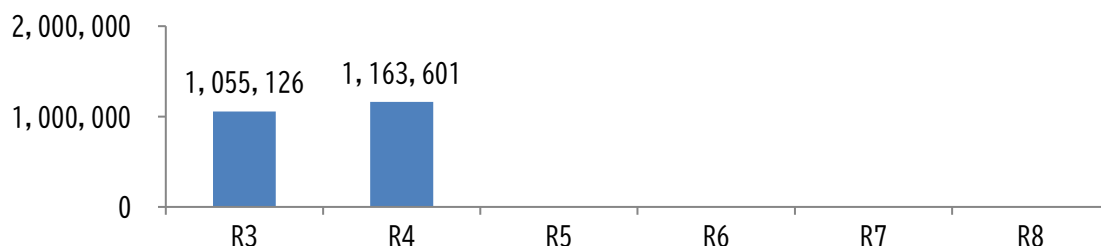


⑤家畜飼養頭羽数（鶏卵）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の採卵鶏の飼養羽数

（単位：羽）

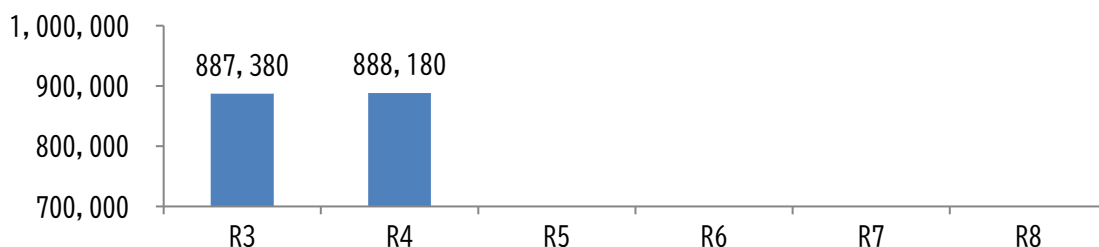


⑥家畜飼養頭羽数（肉鶏）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：各年度2月1日現在の肉鶏の飼養羽数

（単位：羽）



（4）施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 当初開催予定だったイベント事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止したが、補助事業については着実に実施した。
- 令和5年度はイベントを再開予定であり、今後さらに振興を図る。

（5）施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考えます →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策3. 水産業の振興

目指す姿	・漁業経営の安定・強化が図られ、国内外に安全安心で新鮮な水産物が安定的に供給されている。
施策の内容	生産基盤の整備や融資制度の充実を図るとともに、水産物のブランド化の取組を推進します。また、つくり育てる漁業の実現を目指した取組など水産業の持続的発展に向けた取組を推進するとともに、漁業関連施設における衛生管理の促進を図ります。

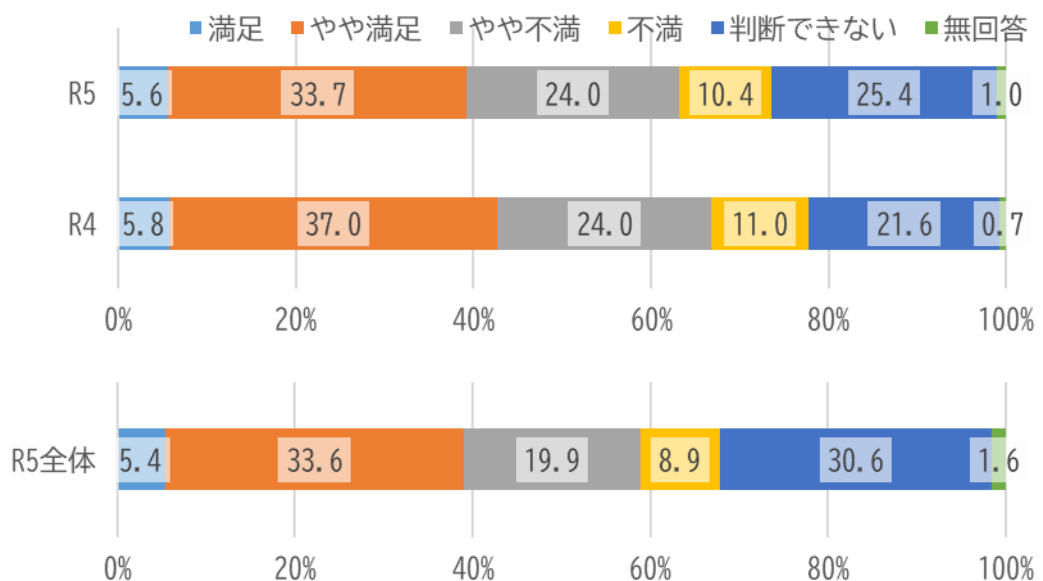
(1) 施策を推進するための事務事業

(7事業)

事業名称	担当部署
水産基盤整備事業（第1種漁港）	水産事務所
水産物流通加工振興事業	水産事務所
漁業系統金融機関などに対する貸付事業	水産事務所
漁業系統保証機関に対する出資事業	水産事務所
水産業振興事業	水産事務所
漁船誘致推進事業	水産事務所
衛生管理推進事業	水産事務所

(2) 市民アンケートの結果

【設問】八戸港における水揚げ数量の安定確保や水産物のブランド化の促進及び国内外への安定的な供給など、水産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 32位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

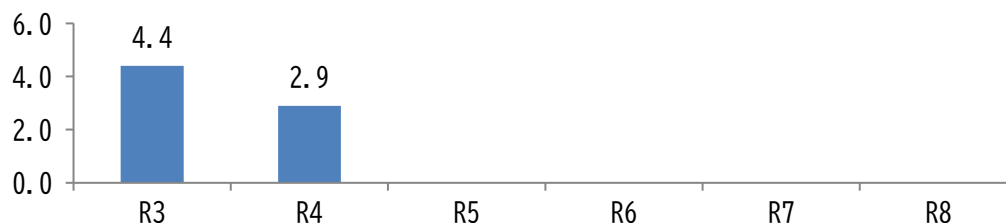
(3) 進行管理指標の動向

①水揚げ高（数量）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱数量

（単位：万トン）

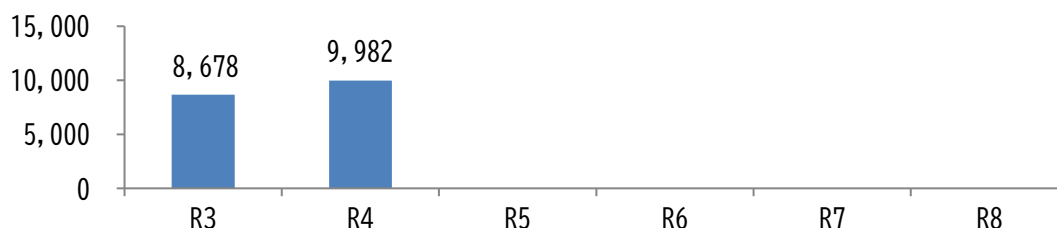


②水揚げ高（金額）

資料：八戸市（各年集計）

指標の定義：八戸市魚市場での魚介藻類の取扱金額

（単位：百万円）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

（自己評価の理由）

- 産学官等の様々な団体の参画のもと、八戸市の水産業の未来を考える「八戸水産アカデミー」を令和4年5月に設置。令和5年3月には水産アカデミー内に「つくり育てる漁業専門部会」を設置した。
- 八戸漁港の水揚げ増大を目的に、令和4年5月に「八戸漁港漁船誘致推進委員会」を設置し、市場関係者が一体となった漁船誘致活動を実施した。
- これまで取り組んできたブランド化や衛生管理等の事業に加え、これらの新たな事業の実施により、当市水産業の持続的発展に向けた取組を推進している。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策4. ものづくり産業の振興

目指す姿	・多くのものづくり企業において生産性が向上し、先端技術の活用などにより事業の高度化が進められ、受発注の拡大が図られている。
施策の内容	ものづくり企業の教育・研究機関や産業支援機関との連携による取組を支援するとともに、ものづくり企業への支援体制の強化や企業間のネットワーク形成の促進を図ります。

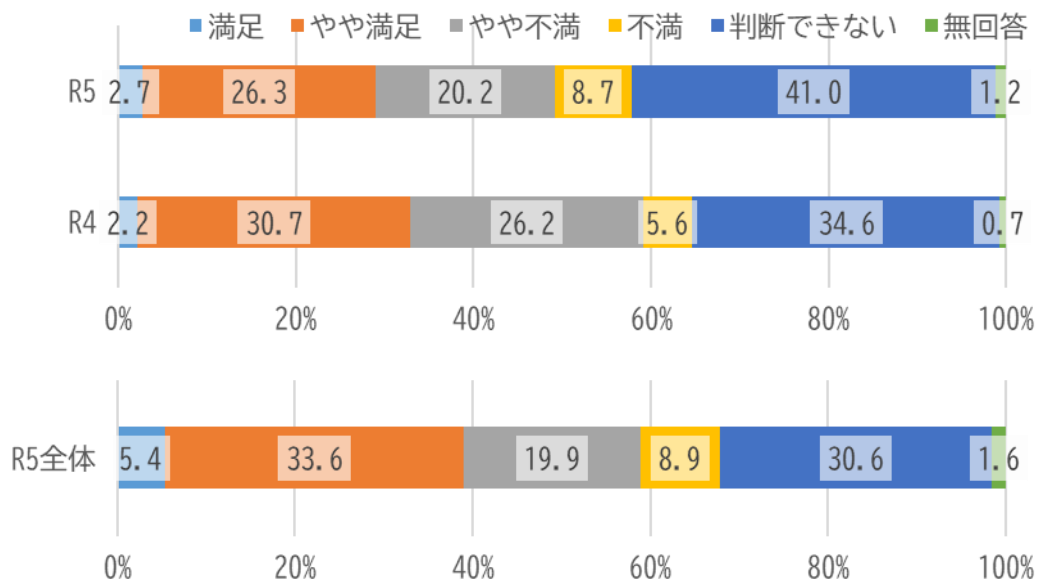
(1) 施策を推進するための事務事業

(6事業)

事業名称	担当部署
産学官共同研究開発支援事業	商工課
知的財産権対策支援事業	商工課
革新的ものづくり企業連携促進事業	商工課
生産性カイゼン実践支援事業	商工課
地域企業支援体制強化事業	商工課
事業者向け情報提供事業	商工課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】企業の生産性向上や先端技術の活用による事業の高度化、受発注の拡大など、ものづくり産業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 36位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

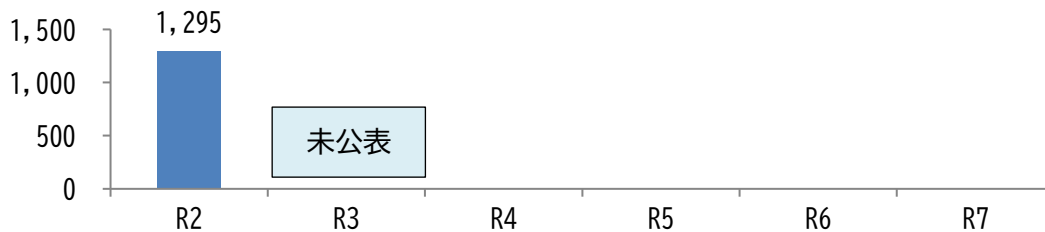
(3) 進行管理指標の動向

①従業員一人当たりの付加価値額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での従業者4人以上の事業所における従業員一人当たりの付加価値額（(粗)付加価値額／従業者数）

(単位：万円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 産学官の共同研究2件に対する補助を通じて、地域のものづくり産業に新たな価値の創出を生み出すとともに、国内特許の出願費用等に対する6件の助成によりイノベーションの創出につながったため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

•

•

•

■ 施策の方向性Ⅱ 販路・消費を拡大する

施策1. 商業の振興

目指す姿	・キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されている。
施策の内容	商業環境の構築に向けた経済的支援に取り組むとともに、市内外から多くの人を訪れる魅力あふれる商店街づくりの促進を図ります。

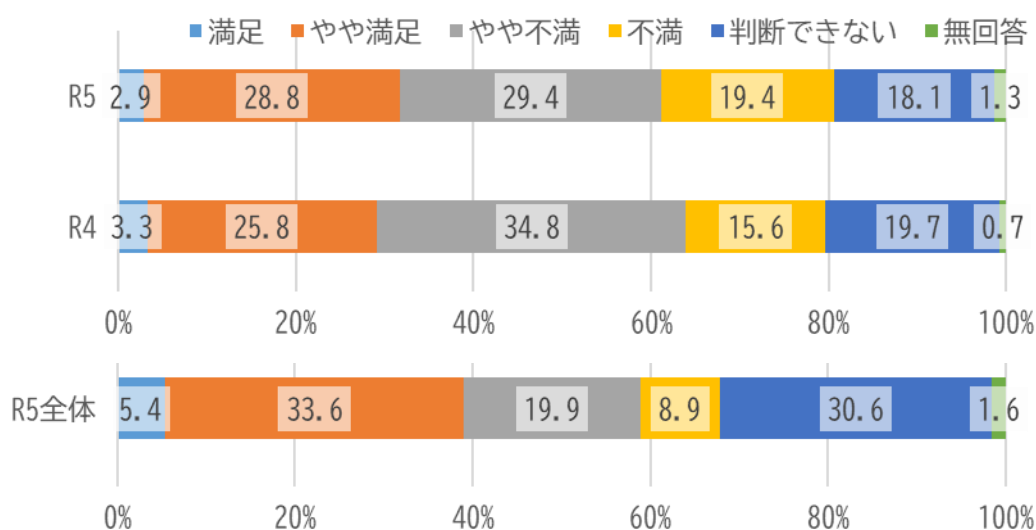
(1) 施策を推進するための事務事業

(10 事業)

事業名称	担当部署
B u yはちのへ運動普及啓発推進事業	商工課
商店街向け補助事業	商工課
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課
八戸市プレミアム食事券事業	商工課
八戸市経済再生ビジョン策定事業	商工課
八戸市商業団体等販売促進支援事業	商工課
八戸市観光おもてなしクーポン事業	観光課
マチニワイイベント支援事業	八戸ポータルミュージアム
商店街向け補助事業	商工課
商店街交流人口拡大支援事業	商工課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】キャッシュレス決済などの多様な消費者ニーズに対応した魅力ある店舗が増え、多くの人で賑わう商業空間が形成されるよう、商業の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 49位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

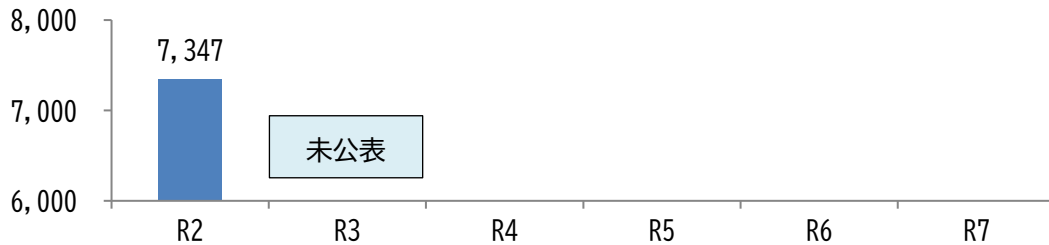
(3) 進行管理指標の動向

①卸売・小売業年間商品販売額

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での卸売・小売業年間商品販売額

(単位：億円)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- プレミアム食事券やプレミアム商品券の発行のほか、商業団体等に対する補助金の交付を通じて消費喚起に積極的に取り組んだため。
- コロナ過からの回復に向けた飲食・物販等のイベント開催を支援する事業の実施により、多くのイベントがマチニワで実施されたほか、はっち及びマチニワで実施しているイベント等への参加が来街するきっかけの一つとなっており、中心街の賑わい創出に一定の効果があったと考えるため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策2. 観光・スポーツビジネスの振興

目指す姿	・観光や学会等への参加や、スポーツ大会や地域プロスポーツチームの試合観戦のために多くの人々が当市を訪れ、宿泊や飲食、お土産の購入などにより、地域経済が活性化している。
施策の内容	八戸圏域版DMO「VISIT はちのへ」と連携した観光誘客を推進するとともに、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿、MICEの積極的な誘致、地域プロスポーツチームの観戦者数の増加に向けた支援の充実を図ります。

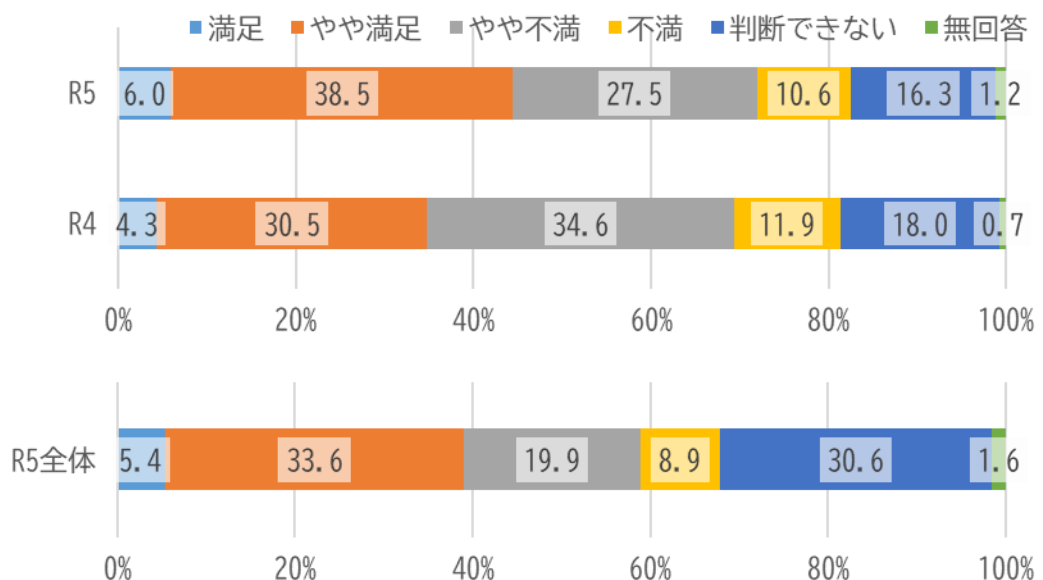
(1) 施策を推進するための事務事業

(6事業)

事業名称	担当部署
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課
スポーツコミッション設立事業	スポーツ振興課
スピードスケート国際大会誘致事業	長根屋内スケート場
八戸市観光おもてなしクーポン事業	観光課
地域スポーツチーム応援事業	スポーツ振興課
八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会設置事業	スポーツ振興課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】観光や地域プロスポーツチームの試合観戦等により多くの人々が当市を訪れ、地域経済が活性化するよう、観光・スポーツビジネスの振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 30位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

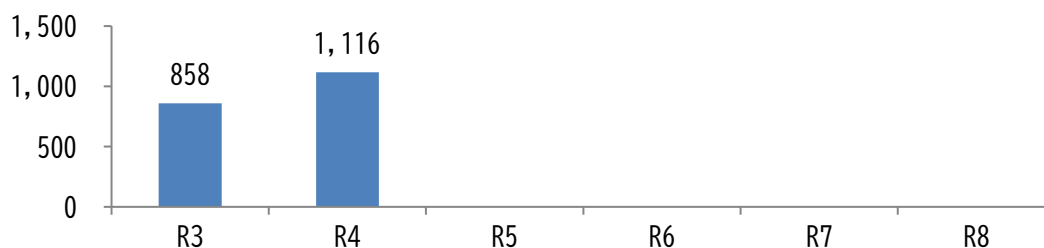
(3) 進行管理指標の動向

①地域プロスポーツチームのホームゲーム 来場者数 (1 試合平均)

資料：八戸市 (各シーズン集計)

指標の定義：当市及び当市を含む地域を拠点に活動するプロスポーツチームの八戸市開催のホーム戦における観客動員数の平均値

(単位：人)

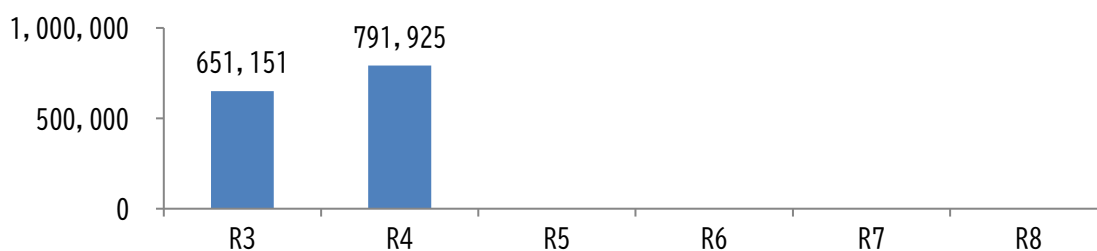


②宿泊者数

資料：(一財) VISIT はちのへ (各年度集計)

指標の定義：市内ホテル・旅館等における延べ宿泊者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域プロスポーツチームの来場者数においては、新型コロナウイルス感染症の影響による観客数の制限が緩和され、回復傾向となっている。
- 宿泊者数においても、行動制限がなくなり、国で実施した旅行支援事業の効果も表れており、宿泊者数が増加していることから、順調に推移していると考えます。
- 令和5年度から、プロスポーツチームの選手による競技指導とホームゲームの観戦を組み合わせた「地域プロスポーツキッズチャレンジ促進事業」を開始し、競技者数並びに観戦者数のさらなる増加を図っていく。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策3. 貿易の振興

目指す姿	・八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量（実入り）が増加している。
施策の内容	官民一体でのポートセールス活動を推進するとともに、貿易に関する協定等を締結している都市との相互交流や輸出に取り組む企業への支援に取り組めます。

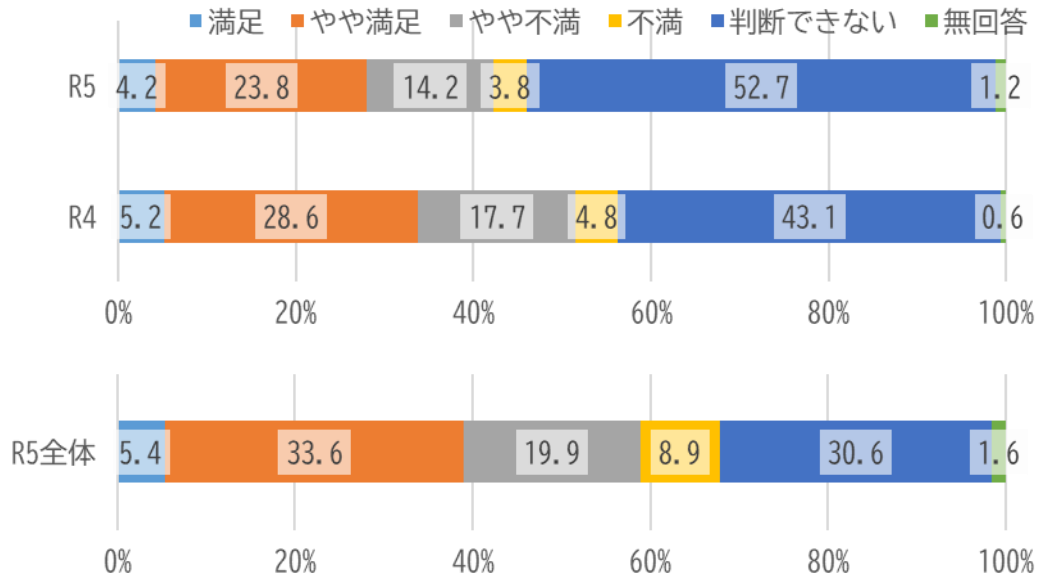
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署
ポートセールス事業	商工課
海外経済交流事業	商工課
海外販路拡大事業	商工課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】八戸港の利用が増え、輸出入貿易額やコンテナ貨物取扱量が増加するよう、貿易の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 19位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

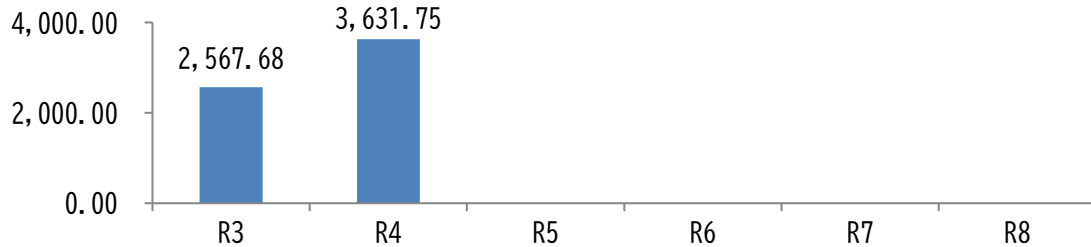
(3) 進行管理指標の動向

①八戸港の輸出入貿易額

資料：函館税関八戸税関支署（各年集計）

指標の定義：函館税関八戸税関支署において通関し、輸出入された商品の売買額の合計

(単位：億円)

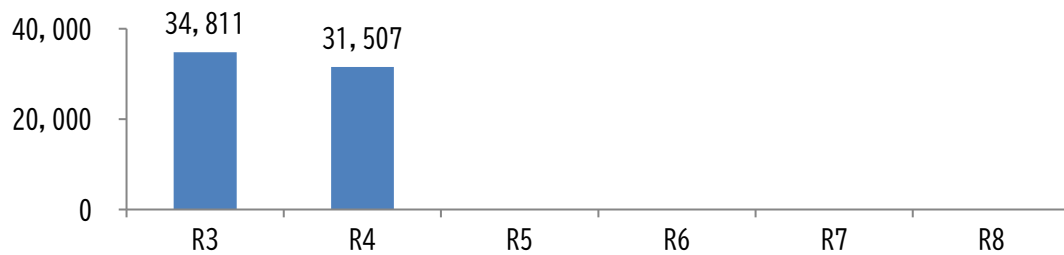


②八戸港のコンテナ貨物取扱量（実入り）

資料：八戸港管理所（各年集計）

指標の定義：八戸港から輸移出及び輸移入するコンテナのうち、貨物が入っているもの

(単位：TEU)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- コロナ禍後の物流停滞や物価高騰が続いているものの、ポートセールスなどの事業には継続的に取り組んでおり、貨物取扱量は堅調に推移しているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

- ・
- ・
- ・

施策4. 販路開拓の促進

目指す姿	・多くの市内事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と安定した経営につながっている。
施策の内容	市内事業者が抱える販路開拓の課題解決に向けた取組への支援や、国内外における販路開拓の機会の確保を図ります。

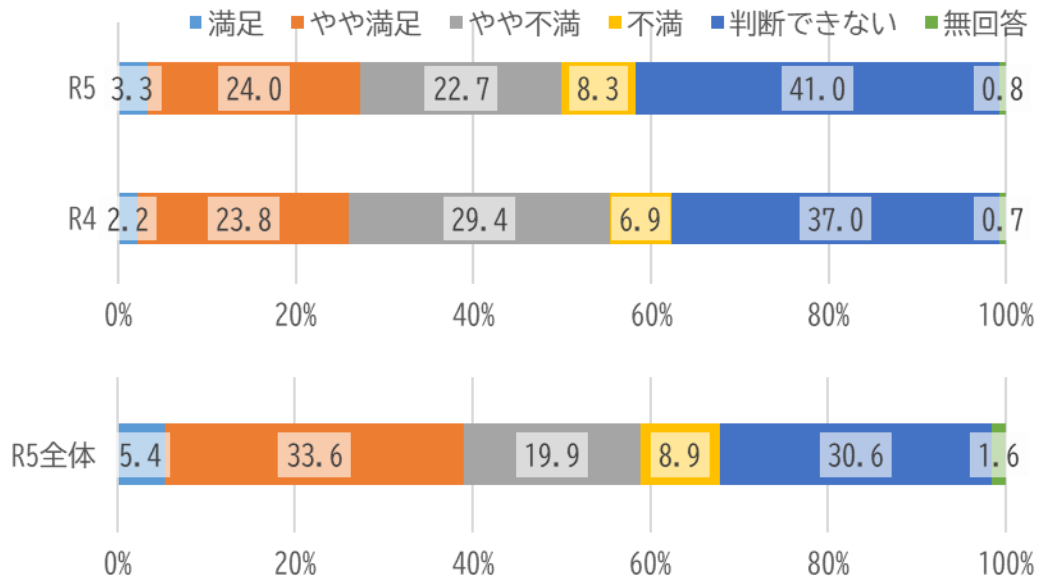
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署
地域企業支援体制強化事業	商工課
海外販路拡大事業	商工課
VISIT はちのへ活動支援事業	観光課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】市内の事業者が、新たな販売先を開拓し、収益性の向上と経営の安定につながられるよう、地場産物フェアや商談会の開催など、販路開拓の促進が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 42位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

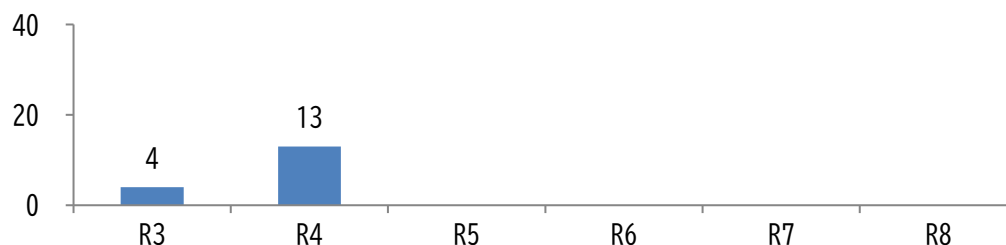
(3) 進行管理指標の動向

①商談成立件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：海外販路拡大事業において、商談成立した件数

(単位：件)

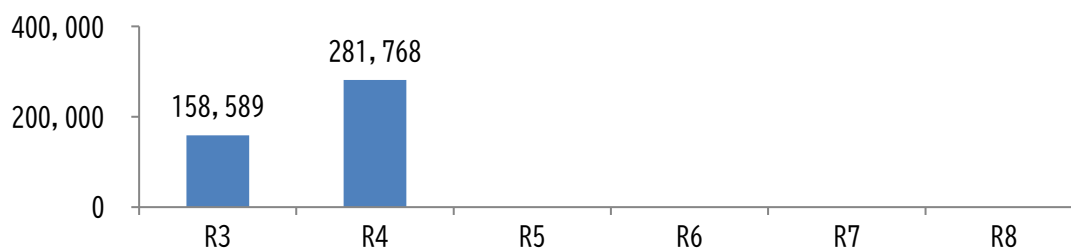


②八戸都市圏交流プラザの来店者数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：八戸都市圏交流プラザの来店者数

(単位：人)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 海外販路拡大の観点では、令和4年度、コロナ禍からの経済回復が目覚ましいアメリカ市場をターゲットに貿易関連フェア等を開催し、成果につながった。
- 国内販路の観点でも、コロナ禍で続いていた行動制限がなくなったとともに、八戸都市圏交流プラザにおける各種イベントやプロモーションの実施により、来店者数の増加につなげることができたため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

■ 施策の方向性Ⅲ 働く場と働きやすい環境をつくる

施策1. 企業誘致の推進

目指す姿	・企業の新規立地が進むとともに、立地企業の事業拡大や地元企業への取引拡大が積極的に図られ、多くの雇用が創出されている。
施策の内容	成長産業などの集積に向けた立地環境のPRに取り組むとともに、新産業団地（八戸北インター第2工業団地）等の整備や企業のニーズに応じた立地支援を推進します。

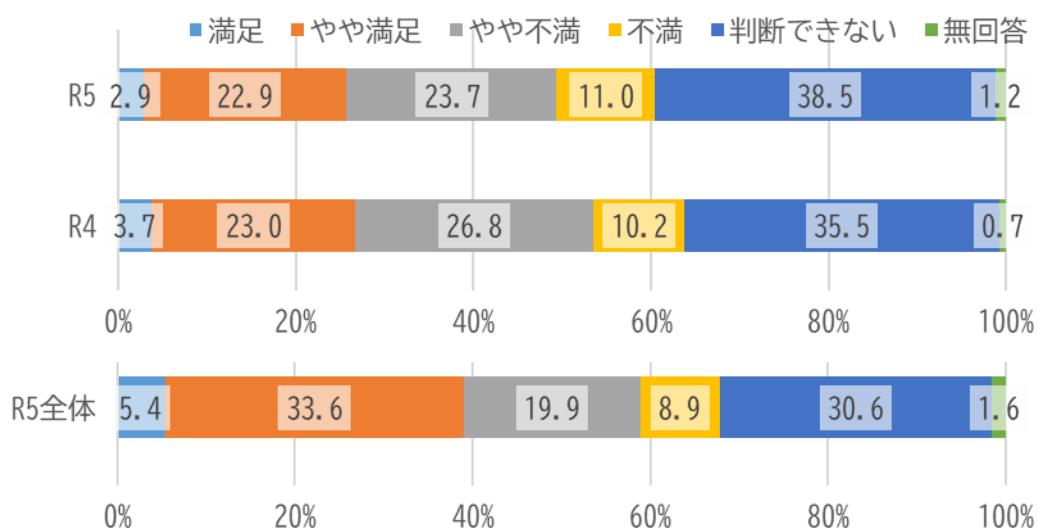
(1) 施策を推進するための事務事業

(9事業)

事業名称	担当部署
企業誘致促進事業	産業労政課
新産業団地整備・開発推進事業	産業労政課
八戸市貸工場運営事業	産業労政課
IT産業集積促進事業	産業労政課
エネルギーシステム転換支援事業	産業労政課
企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業	産業労政課
イノベティブ産業集積促進事業	産業労政課
おためしサテライトオフィス誘致事業	産業労政課
本社機能移転支援事業	産業労政課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地元企業との取引拡大や多くの雇用が創出されるよう、企業誘致が推進されている。



参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 45位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

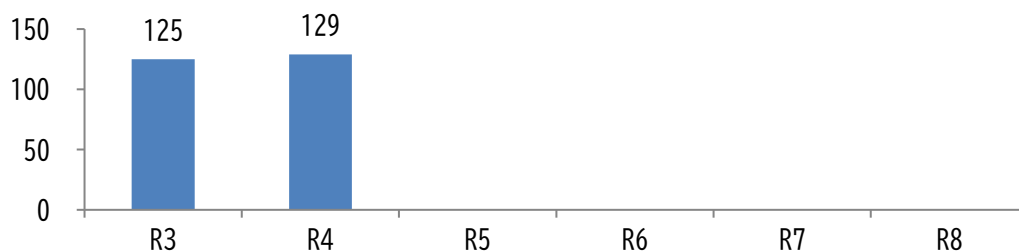
(3) 進行管理指標の動向

①誘致認定件数（累計）

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：毎年度末の誘致認定件数（累計）

（単位：件）

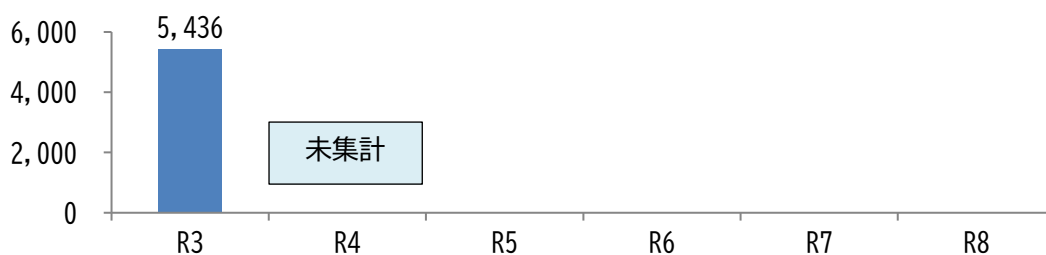


②誘致企業の従業員数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：誘致企業概況調査での誘致企業の従業員数

（単位：人）

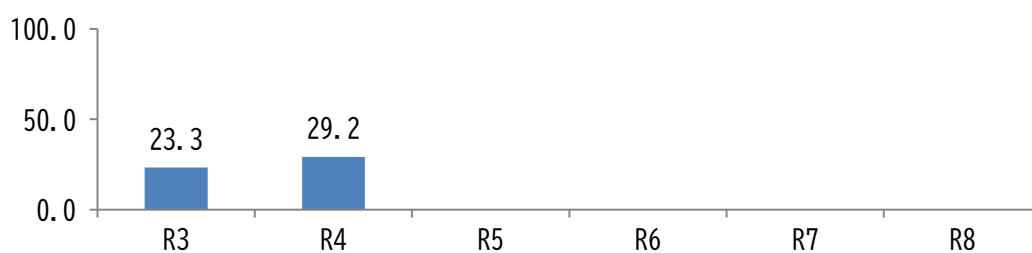


③新産業団地整備事業の進捗率

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：総事業費(見込)に対する決算額合計の比率

（単位：%）



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされていた企業誘致セミナーを3年ぶりに開催したほか、コロナによる制約緩和に伴い、企業の地方拠点開設の動きが回復傾向にあり、企業ニーズに応じた立地支援を展開しながら、新産業団地の整備を着実に進めているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策2. 中小企業・小規模事業者の振興

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業・小規模事業者が、市場の環境の変化に意欲的に対応し、新たな分野への事業展開が行われている。 ・ 円滑な事業承継が図られ、中小企業・小規模事業者において安定した経営が行われている。
施策の内容	融資・保証・助成制度の充実を図るとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターでの事業承継支援や、コーディネーターによる相談対応、各種支援制度の情報提供体制の充実を図ります。

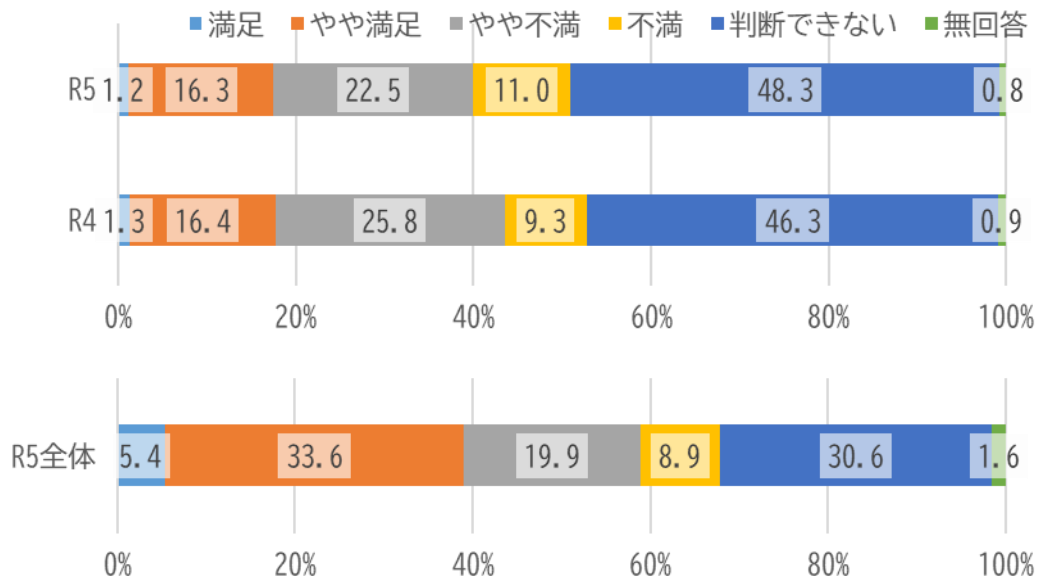
(1) 施策を推進するための事務事業

(14 事業)

事業名称	担当部署
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課
中小企業振興補助金交付事業	商工課
事業者向け情報提供事業	商工課
青森県・八戸市連携融資制度保証料補給事業	商工課
八戸市創業融資利子補給事業	商工課
地域総合整備資金貸付事業	商工課
中小企業特別保証制度保証料補助事業	商工課
中小企業振興資金事業	商工課
マル経融資利子補給事業	商工課
経営安定化サポート資金保証料及び利子補給事業	商工課
事業所等における事業継続計画（BCP）の策定支援事業	商工課
新商品特定随意契約制度事業者認定事業	商工課
地域企業支援体制強化事業	商工課
中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業	商工課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】中小企業・小規模事業者が安定的に事業活動を継続できるよう、経営基盤の安定や事業承継に対する支援の充実など、中小企業・小規模事業者の振興が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 51位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

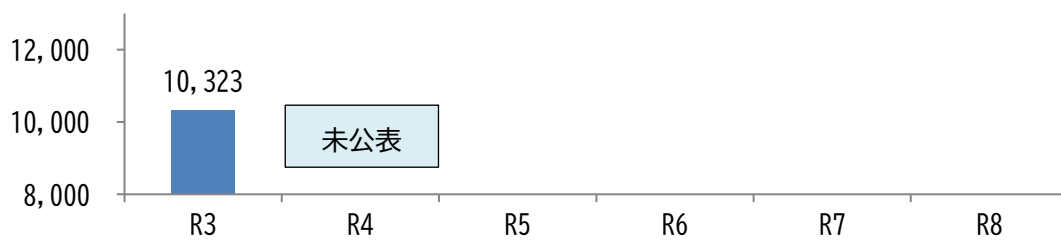
(3) 進行管理指標の動向

①市内事業所数

資料：国調査

指標の定義：国の統計調査での市内事業所数

(単位：事業所)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 中小企業・小規模企業振興基本条例（令和4年4月1日施行）に基づき「中小企業・小規模企業振興会議」を設置し、外部有識者等の意見を参考にしながら中小企業等振興策を見直す仕組みを構築したほか、地域社会が一体となって中小企業・小規模企業の振興に取り組むための中小企業・小規模企業振興ビジョンを策定したため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<ul style="list-style-type: none">•••

施策3. 創業環境の充実

目指す姿	・新たな事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えている。
施策の内容	金融機関や産業支援機関との連携による切れ目のない支援体制を構築するとともに、はちのへ創業・事業承継サポートセンターにおける相談体制や融資制度の充実を図ります。

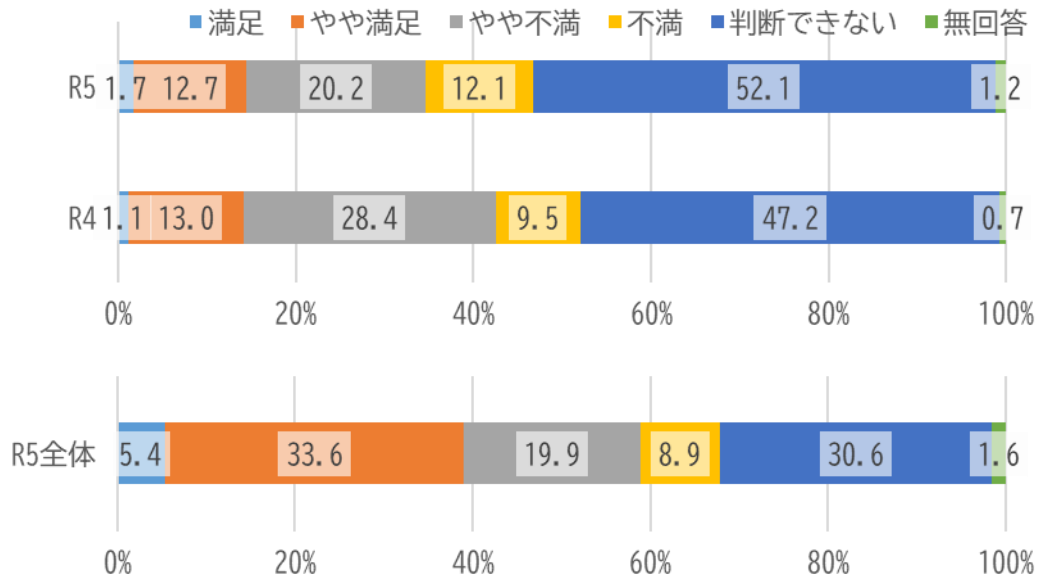
(1) 施策を推進するための事務事業

(5事業)

事業名称	担当部署
はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業	商工課
青森県・八戸市連携融資制度保証料補給事業	商工課
八戸市創業融資利子補給事業	商工課
空き店舗活用チャレンジ融資保証料及び利子補給事業	商工課
新規会社設立補助事業	商工課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】地域経済の新たな担い手として、事業活動に意欲的に取り組む创业者が増えるよう、創業環境の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 52位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

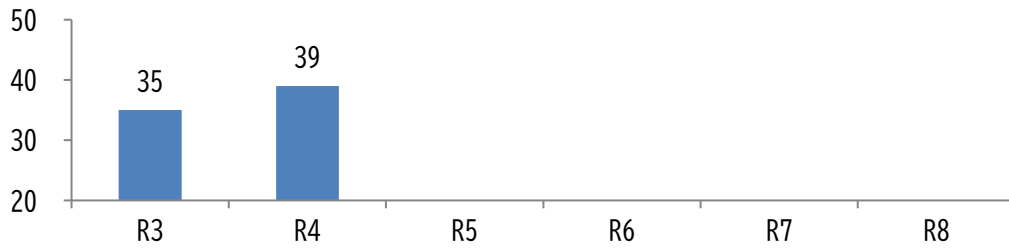
(3) 進行管理指標の動向

①はちのへ創業・事業承継サポートセンター
を活用して創業した件数

資料：八戸市（各年度集計）

指標の定義：はちのへ創業・事業承継サポートセンターを活用して創業した件数

(単位：件)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 令和4年度から新たに新規会社設立補助金を創設し、支援体制の強化を図っており、創業件数が堅調に推移しているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-

施策4. 雇用・就業の促進

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・企業において必要な人材確保が図られている。 ・首都圏等に転出することなく、自分の希望する職業や能力を活かすことができる職業に就けている。
施策の内容	雇用・就業機会の拡大や職業能力の開発・向上に取り組むとともに、地元定着・人材還流の促進を図ります。

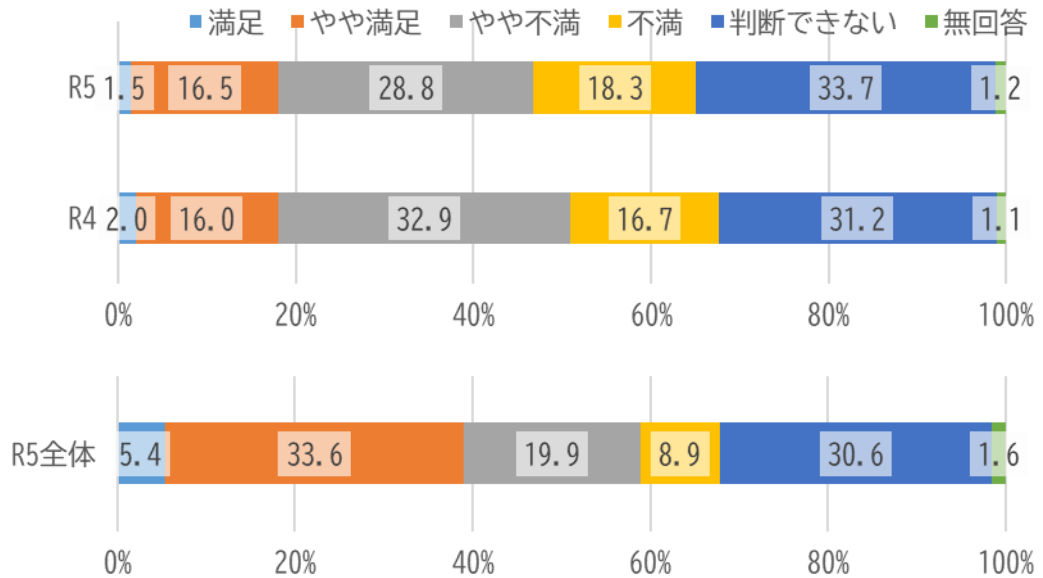
(1) 施策を推進するための事務事業

(14 事業)

事業名称	担当部署
無料職業紹介事業	産業労政課
雇用奨励金交付事業	産業労政課
シルバー人材センター育成・援助事業	産業労政課
求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業	産業労政課
地元企業ファンづくりプロジェクト事業	産業労政課
若年者・離職者対策事業	産業労政課
ほんのり温ったか八戸移住計画支援事業	産業労政課
人材還流促進事業	産業労政課
地域事業所人材獲得等支援事業	産業労政課
移住支援金支給事業	産業労政課
卓越技能者表彰制度実施事業	産業労政課
フロンティア八戸職業訓練助成事業	産業労政課
技能者養成事業	産業労政課
地域人材ニーズ調査事業	産業労政課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】 地元で自分の希望する職業に就けるとともに、企業が必要な人材を確保できるよう、地元企業の魅力発信や UIJ ターン希望者への就職支援など、雇用・就業の促進が図られている。



【参考】 満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 53位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

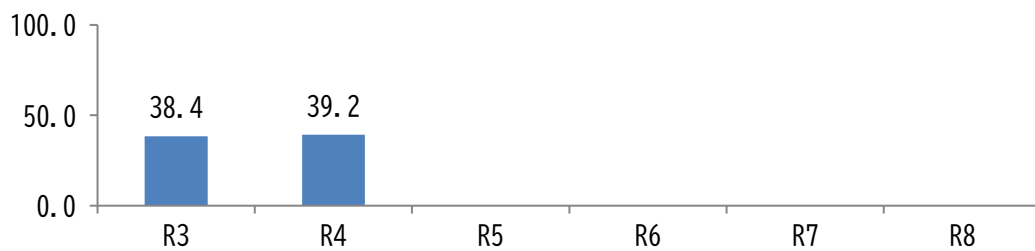
(3) 進行管理指標の動向

①八戸公共職業安定所管内の就職率

資料：八戸公共職業安定所（各年度集計）

指標の定義：八戸公共職業安定所管内における新規求職者に対する就職件数の比率

(単位：%)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

b. 順調に進んでいる

(自己評価の理由)

- 地域人材ニーズ調査事業において実施したキャリアアップ等に関するアンケート調査では、キャリアアップを重要、またはある程度重要ととらえている団体・事業所は全体の88%にのぼり、多くの団体や事業所でキャリアアップの重要性を認識していると把握できており、調査結果をもとに、令和5年度はキャリア教育推進事業として、市内に居住または通勤する社会人を対象としたキャリアアップを啓発するセミナーを実施する予定としているため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える →

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>

施策5. 労働環境の充実

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所において、労働環境の改善及び福利厚生の実現が図られている。 勤労者が多様で柔軟な働き方を選択することができ、安心して快適に、かつ意欲的に働くことができる。
施策の内容	勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の普及啓発を図るとともに、福利厚生の実現に向けた取組を支援します。

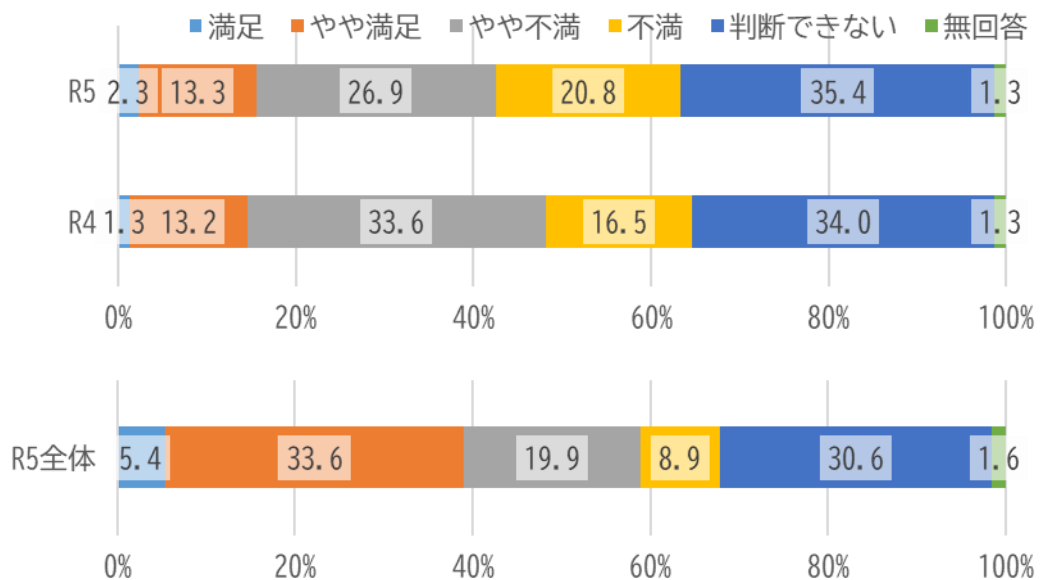
(1) 施策を推進するための事務事業

(3事業)

事業名称	担当部署
労働環境普及・啓発事業	産業労政課
中小企業勤労者総合福祉推進事業	産業労政課
勤労者向け融資制度実施事業	産業労政課

(2) 市民アンケートの結果

【設問】勤労者が多様な働き方を選択でき、安心かつ意欲的に働けるよう、ワークライフバランスの推進など、労働環境の充実が図られている。



【参考】満足度（「満足」と「やや満足」を合わせた割合）の順位 54位／全55問

※「判断できない」と「無回答」を除いて集計したもの

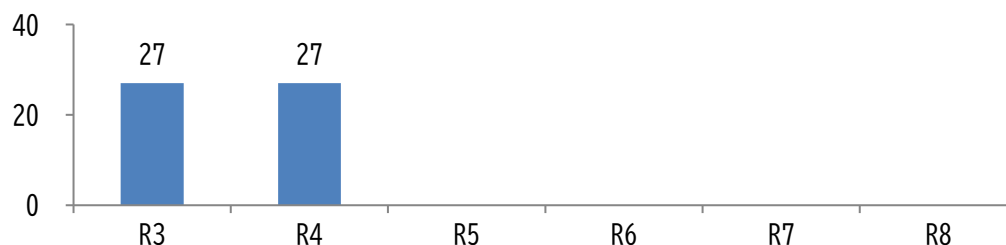
(3) 進行管理指標の動向

①「あおり働き方改革推進企業」認証取得企業数

資料：青森県（各年度集計）

指標の定義：「あおり働き方改革推進企業」の認証を取得した市内企業数の累計

(単位：社)



(4) 施策の進行状況に対する市の自己評価

c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある

(自己評価の理由)

- 認証の有効期間が2年間（要更新）であるため、認証取得企業数の増減により、実績が横ばいとなっているが、勤労者及び事業者に対する働きやすい労働環境の普及啓発を図るため、引き続き労働環境の改善に関するポスターの掲示やチラシの配布、講習会・セミナー等の開催を周知するとともに、認証制度について、新規認証取得企業が増えるよう、周知に努める必要があるため。

(5) 施策に対する委員会の評価

- A. 市の自己評価が妥当と考える
- B. 市の自己評価が妥当でないと考える ↘

※Bとする場合には、次の4区分から委員会の評価を選定してください

- a. 非常に順調に進んでいる
- b. 順調に進んでいる
- c. 概ね順調に進んでいるが、改善の余地がある
- d. 順調に進んでいないため、改善の必要がある

(6) 施策を推進するための委員会からの意見

施策を推進するための委員会からの意見

-
-
-